

「2021年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2021年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。※スケジュールの詳細はP47に掲載しております。

TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割強が3月時点で進路を確定。ただし、昨年度に比べて就職確定者の割合は減少。(P2)
- 大学生の就職予定先として最大の業種は、「情報通信業」。2020年調査と比べ3.9ポイント増加。(P7)
- 就職予定先の従業員規模は、大学生は「1000人～4999人」大学院生は「5000人以上」の割合が増加。理系大学生の「5000人以上」の割合が大幅に減少。(P9)
- 大学生・大学院生とも「当初から第1志望(群)だった」先に就職予定の割合が最高で、ほぼ横ばい。(P11)
- 就職活動の実施期間は、2020年調査と比べると、「0～3ヶ月」が大幅に減少しており、全体的に期間が長くなっている様子がうかがえる。(P15)
- 就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している(P32)。
- 大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも、就職活動開始当初(P34)及び就職予定先を選んだ時点の(P35)自己分析や企業研究等への自己評価が高い。
- インターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月」の割合が最も高い。(P40)

CONTENTS

①卒業後の進路確定状況…………… 2	⑩就職予定先を選ぶ際の重視点…………… 25
②就職予定先への納得度…………… 3	⑪在学中に実施したこと…………… 26
③就職予定先への就業意向…………… 4	⑫就職活動による各活動への支障状況…………… 27
④就職予定先への評価…………… 5	⑬自己分析・企業分析等への自己評価…………… 28
⑤就職予定先の企業状況…………… 7	⑭就職予定先に対するイメージ…………… 30
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間…………… 12	⑮大学・大学院の就職支援で役立った点…………… 32
⑦就職活動の各プロセスの活動量…………… 16	⑯自己分析・企業分析等への自己評価…………… 34
⑧知りたかった情報、知ることができた情報…………… 21	⑰従業員規模の志向…………… 36
⑨就職予定先に関する情報源…………… 23	⑱インターンシップの参加状況…………… 40

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*)全国の大学4年生・大学院2年生 1,813人 *就職活動の経験者を、プレエントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす1,763人で集計を実施。
- 3) 調査時期: 2021年3月13日～31日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

◀地域区分の内訳・調査集計の留意点▶
P47「調査備考」を参照のこと。

<回収数>

大学生	1,603
文系	1,070
国公立	118
私立	951
理系	533
国公立	143
私立	390
大学院生	160

※ウェイトバック集計を行っているため、N数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある。

お問い合わせ先/公益社団法人全国求人情報協会 業務部・久岡幸輔 Tel03-3288-0881 cyouusa@zenkyukyo.or.jp

調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。

<https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/2021shinsotsu-release.pdf>

①卒業後の進路確定状況

民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割強が3月時点で進路を確定。ただし、昨年度に比べて就職確定者の割合は減少。

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割強が卒業後の進路を確定している。

2020年調査と比べると、大学生では就職確定者が減少しており、特に私立大学の理系大学生や、北海道・東北の大学生では減少している。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員などに就職する)	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	1,603	75.8 (-4.9)	5.1 (-1.2)	80.9 (-6.1)	0.7 (0.1)	4.5 (0.7)	0.6 (0.6)	2.9 (0.7)	1.1 (-0.4)	1.0 (0.8)	91.8 (-3.6)	8.2 (3.6)
文系	1,070	79.0 (-2.0)	5.7 (-1.5)	84.7 (-3.5)	0.9 (0.1)	1.2 (-0.4)	0.8 (0.8)	3.0 (0.3)	0.9 (-0.8)	1.0 (0.8)	92.5 (-2.7)	7.5 (2.7)
国公立	118	76.8 (2.7)	12.2 (-3.5)	89.0 (-0.8)	0.2 (-1.7)	3.2 (-0.0)	0.2 (-0.0)	0.5 (-0.0)	2.5 (0.5)	0.7 (0.5)	96.4 (-1.6)	3.6 (1.6)
私立	951	79.2 (-2.7)	4.9 (-1.2)	84.2 (-3.9)	1.0 (0.3)	0.9 (-0.4)	0.9 (0.9)	3.3 (0.4)	0.7 (-0.9)	1.0 (0.9)	92.0 (-2.8)	8.0 (2.8)
理系	533	69.5 (-10.8)	3.9 (-0.5)	73.4 (-11.3)	0.2 (0.2)	11.3 (2.8)	0.3 (0.3)	2.8 (1.5)	1.6 (0.5)	1.0 (0.7)	90.6 (-5.4)	9.4 (5.4)
国公立	143	61.4 (-11.6)	10.7 (4.2)	72.1 (-7.4)	- (-)	14.9 (-3.8)	0.4 (0.4)	2.3 (2.3)	0.4 (0.4)	- (-)	90.1 (-8.1)	9.9 (8.1)
私立	390	72.5 (-12.0)	1.4 (-1.8)	73.9 (-13.8)	0.2 (0.2)	10.0 (7.3)	0.2 (0.2)	3.0 (1.0)	2.1 (0.3)	1.4 (0.8)	90.8 (-4.0)	9.2 (4.0)
北海道・東北	126	74.9 (-11.2)	1.6 (-8.0)	76.4 (-19.2)	- (-)	6.1 (3.1)	0.4 (0.4)	0.5 (-0.2)	0.7 (0.7)	- (-)	84.1 (-15.3)	15.9 (15.3)
関東	686	75.3 (-6.8)	5.3 (0.0)	80.6 (-6.7)	1.3 (0.9)	4.1 (1.7)	0.6 (0.5)	1.7 (-0.6)	1.7 (0.2)	0.6 (0.3)	90.7 (-3.6)	9.3 (3.6)
中部	261	75.7 (-0.9)	8.5 (1.9)	84.3 (1.0)	0.3 (-0.0)	4.0 (-2.0)	- (-)	3.2 (-0.2)	0.4 (-1.6)	1.7 (1.4)	94.0 (-1.5)	6.0 (1.5)
近畿	334	75.3 (-5.9)	3.6 (-2.1)	78.8 (-8.1)	0.3 (-0.6)	5.1 (1.1)	1.7 (1.6)	5.9 (4.6)	1.2 (-0.7)	1.9 (1.7)	95.0 (-0.3)	5.0 (0.3)
中国・四国	99	74.1 (-11.4)	3.7 (-4.9)	77.8 (-16.3)	- (-)	8.9 (3.5)	- (-)	4.7 (4.4)	- (-)	0.9 (0.9)	92.2 (-7.5)	7.8 (7.5)
九州	97	84.4 (12.4)	6.3 (-0.9)	90.7 (11.5)	0.3 (-2.5)	0.3 (-4.5)	- (-)	1.8 (-2.7)	- (-1.4)	- (-)	93.1 (0.4)	6.9 (-0.4)
大学院生	160	86.3 (3.7)	3.1 (-3.3)	89.4 (0.3)	- (-)	1.9 (-1.6)	1.3 (1.3)	0.6 (-0.4)	1.3 (-0.2)	1.3 (0.3)	95.6 (-0.4)	4.4 (0.4)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

②就職予定先への納得度

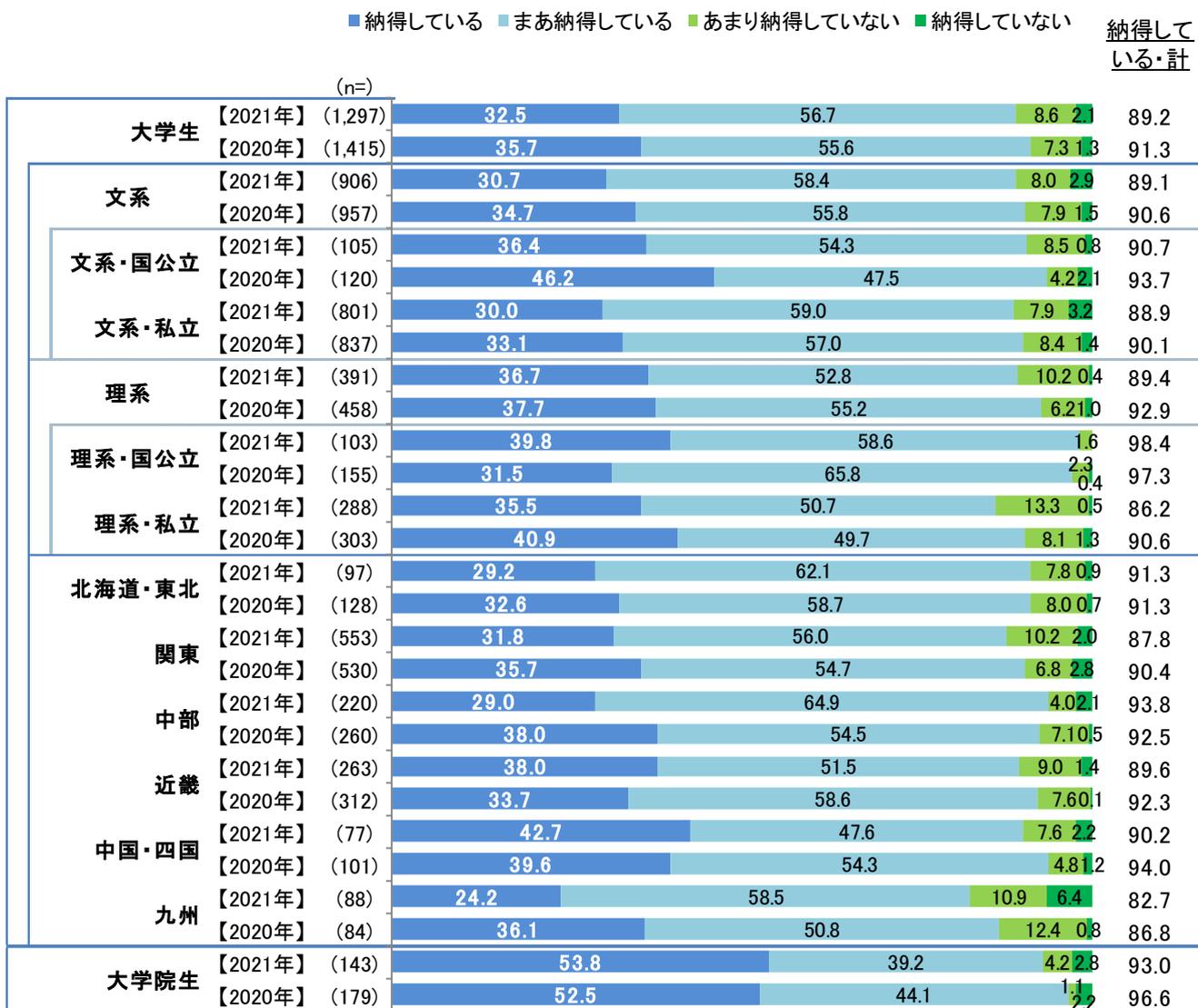
就職確定者の就職予定先への納得度は、大学生・大学院生ともに9割程度で、引き続き高い水準。理系大学生の納得度がやや減少している。

就職確定者の就職予定先への納得している・計(*)は、大学生・大学院生ともに約9割となっている。属性別にみると、特に国公立大学の理系大学生が高い。

2020年調査と比べると、理系大学生の納得している・計がやや減少しており、特に私立大学の理系大学生が減少している。(図表2)

*「納得している」「まあ納得している」の回答者を合計

図表2 就職確定者の就職予定先への納得度(単一回答、単位=%)



※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」

③就職予定先への就業意向

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、大学生では7割半ば、大学院生では8割以上。文系大学生の「勤続志向」が、昨年度に比べて減少している。

就職確定者の就職予定先への勤続志向・計(*1)は、大学生では7割半ば、大学院生では8割以上となっている。文系大学生よりも理系大学生の方が勤続志向・計が高く、また文系大学生は昨年より勤続志向・計が減少している。転職志向・計(*2)は、大学生では2割半ば、大学院生では1割半ばとなっている。その中で「転職することも視野に入れている」が大半で、「すぐに転職したいと思っている」は大学生の4%程度である。(図表3)

*1「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」の回答者を合計

*2「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」の回答者を合計

図表3 就職確定者の就職予定先への就業意向・転職意向(単一回答、単位=%)

		(n=)	意向				勤続志向・計	転職志向・計
			■ その企業・団体等ですっと仕事を続けたい	■ 当面はその企業・団体等で仕事を続けたい	■ 転職することも視野に入れている	■ すぐに転職したいと思っている		
大学生	【2021年】	(1,297)	28.7	45.9	21.7	3.8	74.5	25.5
	【2020年】	(1,415)	30.6	47.8	19.2	2.4	78.4	21.6
文系	【2021年】	(906)	26.8	43.7	25.2	4.3	70.5	29.5
	【2020年】	(957)	29.7	45.9	22.0	2.4	75.5	24.5
文系・国公立	【2021年】	(105)	22.3	52.1	24.8	0.8	74.4	25.6
	【2020年】	(120)	23.1	53.3	22.8	0.8	76.4	23.6
文系・私立	【2021年】	(801)	27.4	42.6	25.2	4.8	70.0	30.0
	【2020年】	(837)	30.6	44.8	21.9	2.7	75.4	24.6
理系	【2021年】	(391)	33.0	50.8	13.7	2.5	83.8	16.2
	【2020年】	(458)	32.6	51.7	13.3	2.4	84.3	15.7
理系・国公立	【2021年】	(103)	42.4	48.8	7.7	1.1	91.2	8.8
	【2020年】	(155)	34.6	51.5	11.5	2.3	86.1	13.9
理系・私立	【2021年】	(288)	29.6	51.5	15.9	3.0	81.1	18.9
	【2020年】	(303)	31.6	51.8	14.2	2.5	83.3	16.7
北海道・東北	【2021年】	(97)	37.7	45.0	13.1	4.2	82.7	17.3
	【2020年】	(128)	24.0	43.4	31.2	1.4	67.5	32.5
関東	【2021年】	(553)	25.7	43.9	27.5	2.9	69.6	30.4
	【2020年】	(530)	28.7	47.6	19.9	3.9	76.2	23.8
中部	【2021年】	(220)	26.9	53.0	16.8	3.3	79.9	20.1
	【2020年】	(260)	30.0	50.5	17.9	1.6	80.5	19.5
近畿	【2021年】	(263)	29.7	47.2	17.6	5.4	76.9	23.1
	【2020年】	(312)	32.9	49.7	17.4		82.6	17.4
中国・四国	【2021年】	(77)	39.0	45.6	13.1	2.2	84.7	15.3
	【2020年】	(101)	47.7	42.1	6.6	3.6	89.8	10.2
九州	【2021年】	(88)	29.5	37.4	26.8	6.3	66.9	33.1
	【2020年】	(84)	25.7	46.6	22.3	5.4	72.3	27.7
納得している	【2021年】	(422)	45.6	42.9	10.5	1.0	88.5	11.5
	【2020年】	(505)	46.6	42.6	9.3	1.4	89.2	10.8
まあ納得している	【2021年】	(736)	22.2	52.4	23.3	2.1	74.6	25.4
	【2020年】	(787)	24.0	54.6	20.7	0.6	78.7	21.3
納得・計	【2021年】	(1,158)	30.7	48.9	18.6	1.7	79.7	20.3
	【2020年】	(1,292)	32.9	49.9	16.3	0.9	82.8	17.2
納得していない・計	【2021年】	(140)	11.5	20.5	47.1	20.9	32.0	68.0
	【2020年】	(123)	6.9	25.0	49.7	18.4	31.9	68.1
大学院生	【2021年】	(143)	35.7	48.3	14.0	2.1	83.9	16.1
	【2020年】	(179)	30.7	48.6	19.0	1.7	79.3	20.7

※勤続志向・計:「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」+「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」
 ※転職志向・計:「転職することも視野に入れている」+「すぐに転職したいと思っている」

④就職予定先への評価

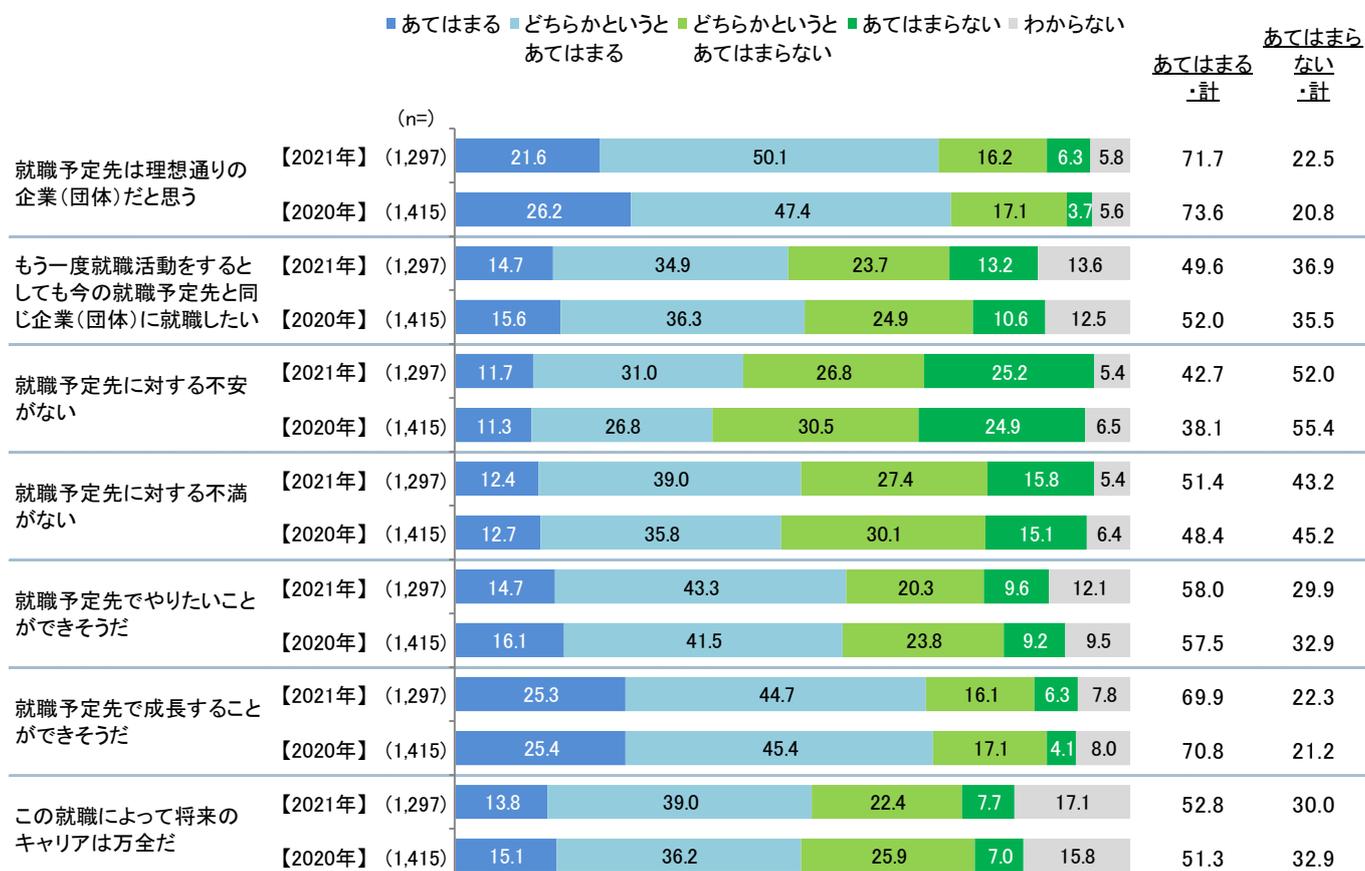
就職予定先への評価は、大学生で「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」が7割。大学生よりも大学院生で就職予定先への評価が高い。

就職確定者における就職予定先への評価(*)は、大学生は「就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」は約7割、「就職予定先に対する不安がない」は4割強となっている。また、大学生よりも大学院生で「就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う」「就職予定先に対する不安がない」「就職予定先に対する不満がない」「就職予定先で成長することができそうだ」などの割合が高い。

2020年調査と比べると、大学生は「就職予定先に対する不安がない」「就職予定先に対する不満がない」がやや増加、大学院生は、「就職予定先でやりたいことができそうだ」「この就職によって将来のキャリアは万全だ」が増加している。(図表4-1~2)

*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答者を合計

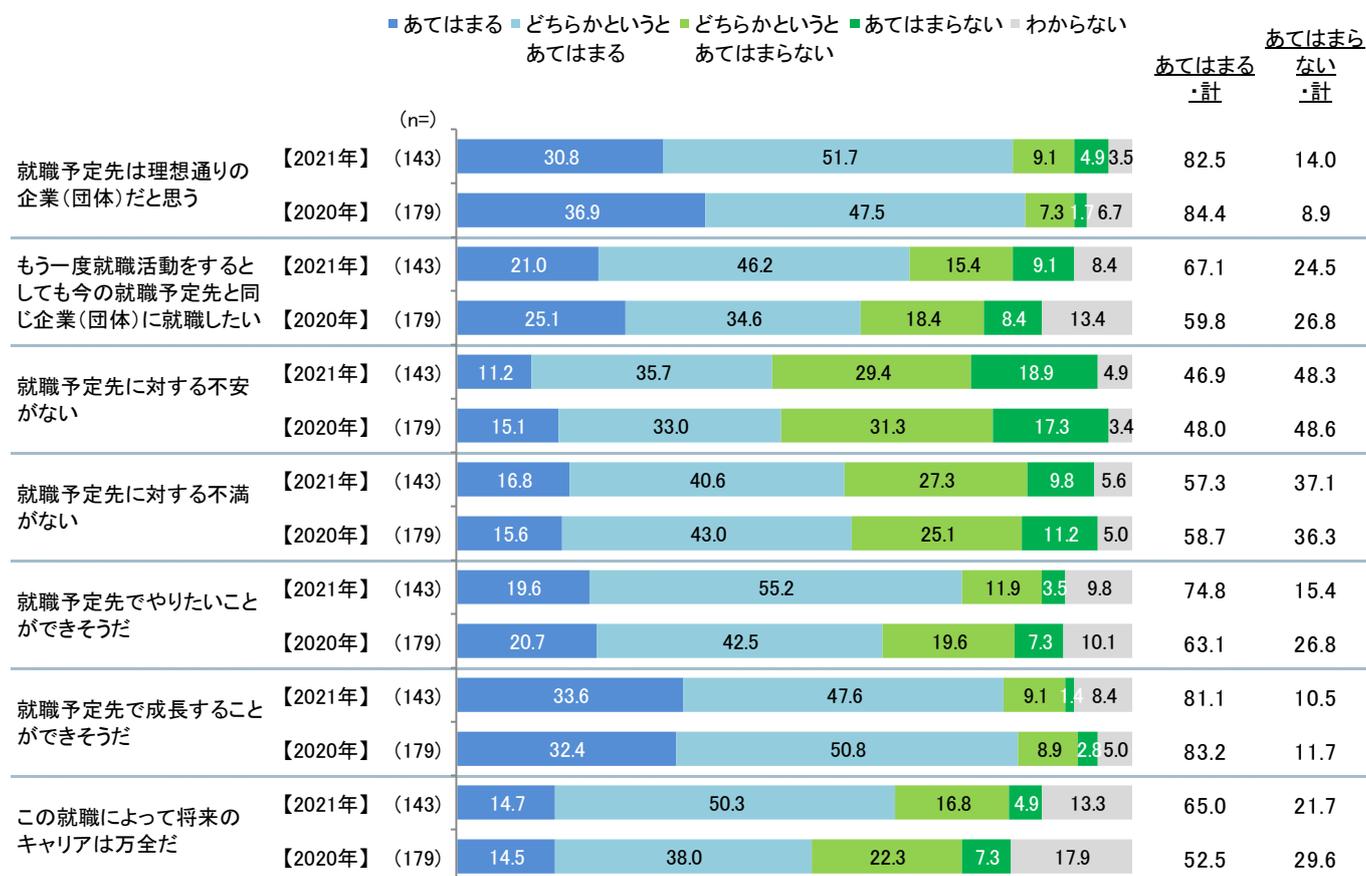
図表4-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

④就職予定先への評価

図表4-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

⑤就職予定先の企業状況

大学生は「情報通信業」「製造業」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「情報通信業」「製造業」「卸売業、小売業」の順に割合が高い。大学院生は「製造業」「情報通信業」「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順に割合が高い。属性別にみると、国公立大学の文系大学生は大学生全体に比べて「公務」の割合が高い。国公立大学の理系大学生は大学生全体に比べて「医療、福祉」の割合が高い。

2020年調査と比べると、大学生では「情報通信業」がやや増加している。大学院生では「情報通信業」がやや増加している一方で、製造業が減少している。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	1,297	1.0 (-0.2)	- (-)	0.0 (-0.7)	5.4 (-0.9)	12.6 (-0.4)	1.4 (-0.3)	17.2 (3.9)	3.7 (-1.1)	9.3 (-1.6)	5.5 (-2.0)	3.4 (0.5)
文系	906	0.9 (0.0)	- (-)	0.0 (-0.6)	4.1 (0.6)	9.9 (1.0)	1.0 (-0.1)	15.8 (3.7)	5.1 (-1.0)	11.5 (-1.0)	7.4 (-2.2)	4.1 (0.3)
国公立	105	0.3 (-1.0)	- (-)	- (-1.2)	1.9 (-3.5)	15.7 (9.3)	- (-3.3)	15.9 (0.1)	4.4 (0.8)	11.5 (4.9)	7.1 (-6.2)	2.7 (0.4)
私立	801	1.0 (0.2)	- (-)	0.0 (-0.6)	4.4 (1.2)	9.2 (-0.1)	1.2 (0.3)	15.8 (4.2)	5.2 (-1.3)	11.5 (-1.8)	7.4 (-1.6)	4.3 (0.3)
理系	391	1.1 (-0.6)	- (-)	- (-0.8)	8.4 (-3.7)	18.7 (-2.7)	2.2 (-0.7)	20.6 (4.8)	0.5 (-1.7)	4.1 (-3.3)	1.0 (-2.0)	1.7 (0.6)
国公立	103	- (-2.3)	- (-)	- (-)	16.4 (6.8)	15.2 (-7.0)	- (-5.4)	17.5 (-5.9)	0.5 (-1.8)	5.8 (2.3)	1.1 (-2.8)	0.5 (0.5)
私立	288	1.5 (0.1)	- (-)	- (-1.2)	5.5 (-7.8)	20.0 (-1.0)	3.0 (1.3)	21.7 (9.8)	0.5 (-1.6)	3.5 (-6.0)	1.0 (-1.5)	2.1 (0.5)
北海道・東北	97	- (-5.9)	- (-)	- (-0.3)	8.0 (1.1)	13.4 (10.4)	0.9 (-0.0)	6.2 (-5.0)	2.7 (0.1)	19.3 (8.5)	4.2 (-5.6)	1.8 (1.5)
関東	553	0.8 (-0.0)	- (-)	- (-0.3)	4.7 (0.8)	9.9 (-1.7)	1.0 (-1.4)	20.9 (4.6)	4.3 (-1.0)	6.8 (-4.3)	6.4 (-0.4)	3.1 (-1.6)
中部	220	- (-0.4)	- (-)	- (-1.1)	3.3 (-4.4)	20.2 (1.0)	3.8 (3.4)	16.4 (2.4)	1.9 (-3.0)	9.5 (-1.2)	3.5 (-1.0)	1.4 (-0.4)
近畿	263	3.0 (3.0)	- (-)	0.1 (-1.2)	6.2 (-1.8)	12.1 (-2.2)	0.9 (-1.5)	13.8 (5.7)	3.2 (-1.3)	9.8 (-2.0)	4.8 (-2.9)	7.8 (4.8)
中国・四国	77	- (-0.6)	- (-)	- (-)	10.7 (0.5)	11.0 (-5.2)	1.1 (-0.1)	20.5 (7.6)	0.7 (-4.0)	19.8 (14.5)	7.8 (-3.0)	- (-0.3)
九州	88	0.3 (-3.2)	- (-)	- (-1.4)	5.4 (-0.3)	12.2 (4.0)	- (-0.7)	16.3 (0.7)	10.1 (3.6)	2.9 (-10.8)	5.5 (-5.8)	1.3 (-0.1)
大学院生	143	- (-)	- (-)	0.7 (0.1)	7.7 (2.1)	32.2 (-9.2)	6.3 (4.1)	18.2 (3.7)	1.4 (0.3)	2.1 (-0.7)	2.8 (1.7)	0.7 (-0.4)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い青色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

※前ページより続き

	n=	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	1,297	3.2 (0.9)	2.7 (0.5)	2.7 (-0.4)	5.1 (1.0)	11.1 (0.4)	2.3 (-0.1)	6.2 (0.8)	4.3 (-0.6)	0.8 (0.5)	1.9 (-0.4)
文系	906	2.2 (0.6)	3.5 (1.0)	3.7 (-0.5)	6.2 (0.5)	6.7 (-2.4)	2.8 (0.1)	7.5 (1.3)	5.2 (-1.4)	0.2 (-0.3)	2.1 (0.3)
国公立	105	2.7 (1.4)	1.9 (-0.4)	2.8 (1.4)	9.3 (1.5)	2.4 (-3.3)	2.5 (0.2)	4.9 (-1.6)	12.1 (-0.5)	0.8 (0.8)	1.1 (0.1)
私立	801	2.1 (0.5)	3.7 (1.1)	3.8 (-0.8)	5.8 (0.4)	7.2 (-2.3)	2.8 (0.1)	7.8 (1.7)	4.3 (-1.4)	0.1 (-0.4)	2.3 (0.3)
理系	391	5.8 (1.7)	1.1 (-0.5)	0.4 (-0.3)	2.4 (1.9)	21.4 (7.1)	1.2 (-0.5)	3.3 (-0.4)	2.3 (0.9)	2.3 (2.3)	1.4 (-2.1)
国公立	103	5.8 (1.1)	- (-1.6)	- (-)	4.2 (3.1)	21.7 (10.8)	- (-1.6)	3.2 (1.6)	7.4 (4.7)	- (-)	0.5 (-2.6)
私立	288	5.7 (2.1)	1.5 (-0.1)	0.6 (-0.5)	1.8 (1.6)	21.3 (5.3)	1.6 (-0.1)	3.3 (-1.5)	0.5 (-0.2)	3.1 (3.1)	1.7 (-2.0)
北海道・東北	97	0.9 (-4.6)	5.8 (4.4)	2.4 (-0.7)	9.0 (4.5)	12.5 (-4.1)	1.2 (-1.1)	2.9 (0.4)	0.9 (-7.0)	3.9 (1.6)	4.0 (1.7)
関東	553	4.6 (3.0)	2.6 (0.1)	3.1 (-1.0)	4.4 (1.5)	9.9 (1.8)	2.8 (0.6)	6.7 (-0.2)	5.2 (0.3)	1.0 (0.8)	1.8 (-1.4)
中部	220	1.0 (-1.8)	3.5 (1.2)	1.6 (-0.7)	6.1 (0.7)	15.3 (6.2)	0.9 (-0.5)	2.7 (-1.8)	5.2 (-1.1)	0.5 (0.5)	3.2 (1.9)
近畿	263	3.9 (1.7)	2.4 (-0.2)	1.6 (-1.6)	5.3 (-0.4)	9.4 (-2.3)	4.0 (1.6)	8.2 (1.6)	2.1 (-0.7)	- (-0.1)	1.4 (-0.3)
中国・四国	77	2.1 (-1.5)	- (-1.0)	- (-)	2.6 (0.3)	8.8 (-3.1)	0.4 (-7.4)	6.8 (3.6)	7.2 (4.1)	0.4 (0.4)	- (-4.7)
九州	88	1.6 (1.6)	1.9 (0.7)	8.8 (6.9)	4.6 (1.5)	14.1 (-4.5)	0.3 (0.3)	9.3 (8.1)	4.6 (-1.1)	- (-)	0.7 (0.3)
大学院生	143	7.7 (-2.4)	- (-1.1)	0.7 (-0.4)	6.3 (4.6)	4.9 (-2.4)	1.4 (0.8)	0.7 (-0.4)	2.1 (-3.5)	0.7 (0.7)	3.5 (2.4)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

就職予定先の従業員規模は、大学生は「1000人～4999人」大学院生は「5000人以上」の割合が増加。理系大学生の「5000人以上」の割合が大幅に減少。

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生は「1000人～4999人」の割合が最も高い。ただし「300人～999人」とほぼ同じ割合である。大学院生は「5000人以上」の割合が最も高い。

2020年調査と比べると、理系大学生では「5000人以上」が大幅に減少し、「1000人～4999人」が増加している。地域別では、北海道・東北の学生において「5000人以上」の割合が大幅に減少し、「100人未満」の割合が大幅に増加している。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1000人～4999人	5000人以上
大学生	1,297	17.2 (1.7)	18.1 (-2.4)	26.3 (-0.5)	26.5 (5.4)	11.8 (-4.2)
文系	906	18.7 (0.3)	17.3 (-2.1)	25.9 (-1.2)	25.2 (4.0)	12.9 (-1.1)
国公立	105	15.3 (-2.5)	17.8 (0.8)	22.5 (-4.2)	26.6 (5.0)	17.9 (0.9)
私立	801	19.1 (0.7)	17.2 (-2.5)	26.4 (-0.8)	25.0 (3.9)	12.3 (-1.3)
理系	391	13.7 (4.3)	20.1 (-3.0)	27.1 (1.1)	29.7 (8.6)	9.4 (-11.0)
国公立	103	9.0 (3.6)	19.6 (-7.0)	33.2 (12.1)	27.6 (0.4)	10.6 (-9.1)
私立	288	15.4 (4.0)	20.3 (-1.1)	24.9 (-3.6)	30.4 (12.6)	8.9 (-11.8)
北海道・東北	97	26.3 (10.5)	13.9 (-0.4)	34.7 (-0.9)	20.6 (4.7)	4.5 (-13.9)
関東	553	13.2 (-1.1)	19.2 (-2.2)	24.4 (1.9)	28.4 (6.8)	14.8 (-5.4)
中部	220	21.9 (5.6)	17.7 (-5.9)	26.8 (0.8)	25.1 (1.7)	8.6 (-2.2)
近畿	263	19.2 (3.5)	14.7 (-2.9)	24.3 (-5.4)	27.3 (4.1)	14.5 (0.8)
中国・四国	77	18.5 (0.9)	15.8 (-7.1)	31.7 (1.3)	30.3 (14.8)	3.7 (-9.9)
九州	88	13.1 (-2.6)	30.0 (5.6)	29.3 (1.7)	19.0 (1.2)	8.7 (-5.9)
大学院生	143	10.5 (2.7)	11.9 (0.7)	21.0 (-0.8)	26.6 (-4.7)	30.1 (2.1)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

職種は大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。大学生で「一般職」が増加している一方で、大学院生では「一般職」は減少している。

就職確定者において、就職予定先で応募した採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。属性別にみると、大学生の文理別、エリア別のいずれも「総合職」の割合が最も高い。

2020年調査と比べると、大学生で「一般職」がやや増加しており、特に私立大学の理系大学生の「一般職」が増加している。また、大学院生では「一般職」が減少している。(図表7)

図表7 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース(単一回答、単位=%)

	n=	総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
大学生	1,297	51.1 (-1.9)	24.1 (3.1)	3.8 (-0.1)	6.3 (-1.2)	5.9 (0.9)	8.9 (-0.8)
文系	906	58.7 (2.4)	22.3 (1.8)	4.0 (-0.9)	3.5 (-1.0)	4.2 (-0.8)	7.3 (-1.5)
国公立	105	63.6 (-1.9)	16.4 (2.0)	2.7 (-2.8)	3.3 (-1.0)	4.1 (1.2)	9.9 (2.5)
私立	801	58.0 (3.1)	23.1 (1.7)	4.2 (-0.7)	3.5 (-1.0)	4.2 (-1.1)	7.0 (-2.0)
理系	391	33.4 (-12.8)	28.1 (6.4)	3.3 (1.5)	12.8 (-0.9)	9.9 (4.7)	12.6 (1.0)
国公立	103	35.3 (-19.7)	15.4 (-5.0)	4.8 (3.2)	14.3 (3.3)	13.3 (8.2)	17.0 (10.0)
私立	288	32.7 (-8.9)	32.7 (10.3)	2.8 (0.9)	12.2 (-2.8)	8.6 (3.4)	11.0 (-2.9)
北海道・東北	97	44.0 (-8.2)	18.5 (-2.1)	6.0 (3.7)	7.1 (-2.0)	9.7 (3.8)	14.7 (4.8)
関東	553	51.6 (-1.5)	24.3 (1.6)	2.5 (-0.6)	6.5 (0.3)	5.3 (0.5)	9.9 (-0.2)
中部	220	49.3 (-1.2)	24.6 (2.7)	3.0 (-0.4)	5.6 (-2.1)	7.6 (3.2)	10.0 (-2.2)
近畿	263	54.1 (-2.1)	22.1 (5.0)	7.3 (0.9)	6.6 (-1.0)	5.6 (0.7)	4.2 (-3.6)
中国・四国	77	57.7 (6.3)	24.8 (2.1)	3.0 (1.5)	5.1 (-3.5)	1.1 (-6.5)	8.3 (0.1)
九州	88	45.4 (-6.9)	32.6 (13.5)	2.3 (-4.8)	6.2 (-4.2)	6.0 (2.3)	7.5 (0.1)
大学院生	143	67.8 (0.8)	6.3 (-6.0)	0.7 (0.1)	7.7 (-0.7)	9.8 (4.2)	7.7 (1.5)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

大学生・大学院生とも「当初から第1志望(群)だった」先に就職予定の割合が最高で、ほぼ横ばい。「当初から第1志望(群)だった」先に就職予定の割合が、大幅上昇した地域がある。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高い。大学院生は大学生に比べ「当初から第1志望(群)だった」の割合がとて高い。

2020年調査と比べると、全体ではほぼ昨年並み。私立大学の理系大学生で「当初から第1志望(群)だった」の割合が増加している。地域別では、北海道・東北及び九州の学生において、「当初から第1志望(群)だった」の割合が増加している。(図表8)

図表8 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

	n=	当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初はまったく志望していなかった
大学生	1,297	43.5 (1.6)	27.9 (-2.7)	28.5 (1.1)
文系	906	40.6 (1.0)	27.4 (-3.8)	32.0 (2.8)
国公立	105	47.5 (1.1)	28.7 (-0.5)	23.8 (-0.6)
私立	801	39.7 (1.1)	27.2 (-4.3)	33.1 (3.1)
理系	391	50.3 (3.4)	29.2 (-0.3)	20.5 (-3.1)
国公立	103	55.7 (-1.4)	29.7 (2.0)	14.6 (-0.6)
私立	288	48.4 (6.6)	29.1 (-1.4)	22.5 (-5.2)
北海道・東北	97	59.8 (22.2)	18.5 (-14.7)	21.8 (-7.5)
関東	553	40.8 (-2.3)	27.5 (-4.8)	31.7 (7.1)
中部	220	42.8 (2.6)	28.8 (3.3)	28.4 (-5.9)
近畿	263	42.0 (-1.8)	28.8 (0.0)	29.2 (1.8)
中国・四国	77	40.4 (-4.9)	37.0 (11.1)	22.6 (-6.3)
九州	88	52.0 (16.5)	28.2 (-16.5)	19.7 (0.0)
大学院生	143	61.5 (1.2)	16.1 (-7.4)	22.4 (6.2)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動に関する情報収集の開始時期の割合は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。終了時期は、大学生は「大学4年の10月～3月頃」、大学院生は「大学院2年の6月頃」が最も高い。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高い。2020年調査と比べると、国公立大学の文系大学生で「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が大幅に増加している。

プレエントリー、企業説明会の開始時期は、いずれの属性でも「大学3年/大学院1年の1～2月頃」「大学3年/大学院1年の3月頃」の割合が高い。2020年調査と比べると、国公立大学の理系大学生や大学院生で「大学3年/大学院1年の3月頃」の割合が大幅に減少している。(図表9)

図表9 就職活動の開始時期(単一回答、単位=%) ※各実施者ベース

	n=	大学3年/大学院1年						大学4年/大学院2年			
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	1,517	14.7 (0.1)	30.7 (4.4)	14.8 (-0.5)	6.2 (-0.9)	13.5 (-1.7)	8.9 (-2.4)	6.4 (0.2)	2.0 (0.6)	2.7 (0.3)
	文系	1,020	16.6 (1.6)	32.1 (4.4)	15.5 (0.7)	4.6 (-3.0)	12.0 (-1.8)	9.6 (-2.3)	6.0 (0.6)	1.3 (-0.1)	2.4 (-0.1)
	国公立	113	13.2 (-0.1)	42.0 (13.9)	12.1 (-3.3)	6.1 (-6.0)	12.6 (-0.9)	7.2 (-1.3)	2.8 (-3.8)	2.0 (1.3)	2.0 (0.2)
	私立	907	17.0 (1.8)	30.8 (3.3)	15.9 (1.2)	4.4 (-2.6)	11.9 (-1.9)	9.9 (-2.5)	6.5 (1.2)	1.2 (-0.3)	2.5 (-0.1)
	理系	497	10.8 (-3.1)	27.8 (4.3)	13.5 (-2.9)	9.6 (3.3)	16.5 (-1.3)	7.6 (-2.6)	7.2 (-0.7)	3.5 (2.1)	3.3 (1.0)
	国公立	123	15.6 (0.4)	18.7 (-9.7)	15.6 (-1.0)	6.7 (0.5)	15.4 (-1.9)	9.4 (2.0)	7.6 (1.8)	7.6 (5.0)	3.6 (2.9)
	私立	374	9.2 (-4.0)	30.8 (10.0)	12.9 (-3.5)	10.6 (4.2)	16.9 (-1.3)	7.1 (-4.7)	7.1 (-2.0)	2.2 (1.5)	3.3 (-0.1)
	大学院生	146	15.1 (-2.5)	32.2 (1.9)	11.0 (0.9)	7.5 (0.1)	13.0 (-4.5)	10.3 (2.8)	3.4 (0.2)	2.1 (-1.1)	5.5 (2.3)
プレエントリー	大学生	1,476	3.4 (-0.6)	14.5 (4.6)	10.2 (1.8)	5.0 (-1.1)	23.0 (2.2)	25.6 (-7.3)	11.2 (-0.6)	4.6 (1.7)	2.4 (-0.7)
	文系	1,001	4.3 (0.4)	15.3 (5.6)	9.9 (1.3)	4.3 (-2.0)	22.3 (1.5)	25.4 (-6.8)	12.1 (-0.3)	4.1 (0.5)	2.4 (-0.2)
	国公立	112	3.6 (0.5)	10.8 (5.1)	8.2 (-0.8)	8.7 (4.4)	21.0 (-8.4)	30.7 (-0.6)	10.6 (-1.8)	2.8 (-0.5)	3.6 (2.2)
	私立	889	4.4 (0.3)	15.9 (5.6)	10.1 (1.6)	3.7 (-2.8)	22.4 (2.9)	24.7 (-7.6)	12.3 (-0.1)	4.3 (0.7)	2.2 (-0.5)
	理系	475	1.6 (-2.7)	12.7 (2.6)	10.7 (2.9)	6.6 (0.7)	24.6 (3.6)	26.1 (-8.1)	9.4 (-1.2)	5.8 (4.0)	2.5 (-1.9)
	国公立	119	0.5 (-3.9)	10.1 (-2.7)	13.8 (6.8)	5.1 (1.4)	28.0 (6.8)	20.5 (-13.6)	11.5 (2.3)	7.8 (6.2)	2.8 (-3.2)
	私立	356	2.0 (-2.3)	13.6 (5.1)	9.7 (1.4)	7.1 (-0.1)	23.5 (2.7)	28.0 (-6.3)	8.7 (-2.8)	5.1 (3.3)	2.5 (-1.1)
	大学院生	145	2.8 (0.1)	11.7 (0.0)	9.0 (1.5)	8.3 (0.8)	25.5 (4.8)	22.1 (-12.5)	8.3 (1.9)	4.8 (1.1)	7.6 (2.3)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※前ページより続き

		n=	大学3年／大学院1年					大学4年／大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
企業説明会	大学生	1,512	4.4 (0.5)	16.5 (6.9)	10.4 (1.7)	5.1 (-2.1)	21.6 (2.0)	21.3 (-9.1)	11.9 (-1.6)	3.8 (0.8)	5.0 (0.8)
	文系	1,025	4.6 (0.6)	17.8 (8.1)	10.2 (0.8)	4.7 (-1.4)	20.2 (0.9)	21.2 (-8.7)	13.1 (-1.7)	3.4 (0.7)	4.9 (0.8)
	国公立	114	4.3 (1.3)	17.5 (10.7)	8.8 (-0.7)	4.8 (-2.4)	20.2 (-4.3)	25.1 (-5.5)	11.2 (-1.6)	4.0 (0.6)	4.1 (1.9)
	私立	911	4.6 (0.5)	17.9 (7.7)	10.4 (1.0)	4.6 (-1.3)	20.1 (1.6)	20.7 (-9.1)	13.3 (-1.8)	3.3 (0.7)	5.1 (0.6)
	理系	487	4.1 (0.2)	13.7 (4.5)	10.7 (3.5)	6.0 (-3.4)	24.8 (4.4)	21.6 (-9.8)	9.4 (-1.4)	4.5 (1.2)	5.2 (0.8)
	国公立	122	2.7 (-3.6)	6.7 (-4.7)	20.1 (15.1)	6.7 (-3.1)	20.4 (0.9)	14.8 (-20.4)	13.4 (5.9)	8.1 (6.1)	7.2 (3.9)
	私立	365	4.6 (2.1)	16.0 (8.1)	7.5 (-0.9)	5.8 (-3.4)	26.3 (5.4)	23.9 (-5.5)	8.0 (-4.5)	3.3 (-0.8)	4.6 (-0.5)
	大学院生	147	4.1 (0.9)	18.4 (9.5)	6.8 (-0.0)	9.5 (3.8)	16.3 (-2.5)	23.1 (-15.1)	10.9 (2.0)	3.4 (-0.8)	7.5 (2.2)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院2年の6月頃」の割合が最も高い。

2020年調査と比べると、大学生では大学4年の7月以前が減少し、8月以降が増加しており、全体的に終了時期が遅くなっている様子がうかがえる。(図表10)

図表10 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	1,603	10.5 (0.8)	4.0 (-2.5)	8.4 (-3.1)	13.0 (-7.2)	11.4 (-0.5)	11.8 (3.0)	8.5 (2.3)	21.4 (3.9)	11.0 (3.4)
文系	1,070	9.1 (0.3)	2.9 (-1.6)	6.6 (-2.9)	14.6 (-6.8)	11.4 (-1.3)	13.8 (4.2)	9.3 (2.8)	21.7 (2.0)	10.6 (3.1)
国公立	118	7.1 (-3.4)	3.4 (-3.3)	5.4 (-0.9)	22.2 (0.1)	11.9 (-0.8)	10.0 (-0.7)	6.6 (1.5)	26.6 (6.1)	6.8 (1.4)
私立	951	9.3 (0.8)	2.9 (-1.3)	6.7 (-3.2)	13.7 (-7.7)	11.3 (-1.3)	14.2 (4.9)	9.7 (2.9)	21.1 (1.5)	11.1 (3.3)
理系	533	13.4 (1.7)	6.0 (-4.3)	12.1 (-3.5)	9.7 (-8.0)	11.5 (1.1)	7.8 (0.4)	7.0 (1.2)	20.9 (7.5)	11.6 (3.8)
国公立	143	11.5 (-2.5)	5.7 (-4.6)	8.8 (-7.9)	12.5 (-7.9)	9.9 (1.9)	11.9 (6.0)	13.0 (8.7)	15.3 (3.9)	11.5 (2.4)
私立	390	14.2 (3.7)	6.1 (-4.1)	13.3 (-1.8)	8.7 (-7.5)	12.0 (0.3)	6.3 (-2.0)	4.8 (-1.8)	22.9 (8.5)	11.6 (4.6)
大学院生	160	15.0 (1.6)	7.5 (-5.4)	11.3 (-3.7)	20.0 (-4.4)	10.0 (3.0)	6.3 (-0.7)	5.0 (2.0)	15.6 (3.7)	9.4 (3.9)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

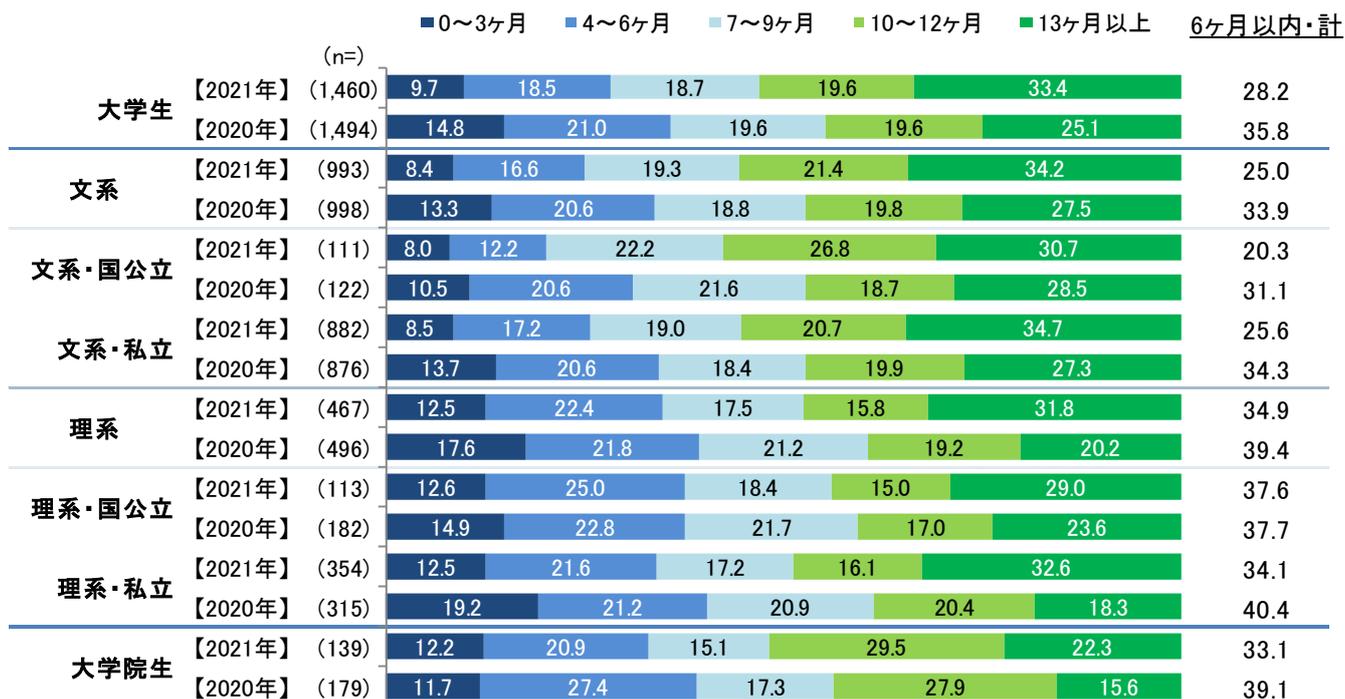
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生は3割弱、大学院生は3割強が6ヶ月以内となっている。2020年調査と比べると、大学生・大学院生ともに6ヶ月以内の割合が減少している。(図表11)

プレエントリー、企業説明会、面接などの選考の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、2020年調査と比べると、「0～3ヶ月」が大幅に減少しており、全体的に期間が長くなっている様子がうかがえる。(図表12)

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6ヶ月以内・計:「0～3ヶ月」+「4～6ヶ月」

図表12 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n=	0～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月	13ヶ月以上
エンプレ	大学生	1,405	20.1 (-12.7)	32.5 (2.0)	18.7 (3.7)	12.7 (3.5)	16.0 (3.5)
	大学院生	135	32.6 (-8.6)	33.3 (0.8)	14.1 (3.8)	10.4 (2.4)	9.6 (1.6)
企業説明会	大学生	1,431	19.5 (-14.6)	28.7 (-0.9)	20.3 (4.9)	13.3 (5.2)	18.2 (5.4)
	大学院生	136	32.4 (-15.4)	29.4 (0.2)	13.2 (4.8)	14.0 (7.2)	11.0 (3.2)
		n=	0～2ヶ月	3～4ヶ月	5～6ヶ月	7～9ヶ月	10ヶ月以上
面接などの選考	大学生	1,478	25.8 (-6.0)	21.4 (-2.1)	17.9 (1.5)	15.7 (3.4)	19.2 (3.2)
	大学院生	146	33.6 (-5.4)	26.7 (0.3)	15.8 (0.9)	8.2 (1.6)	15.8 (2.6)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスにおける活動量は、プレエントリー22.9社、企業説明会参加16.6社、書類選考12.1社、面接などの選考10.5社。面接社数が増加。

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー22.9社、企業説明会参加16.6社、書類選考12.1社、面接など選考10.5社、最終面接4.0社、内定取得2.0社。属性別にみると、理系大学生よりも文系大学生でプレエントリー、企業説明会参加、面接などの選考の社数が多い。

2020年調査と比較すると、大学生・大学院生ともにプレエントリーや企業説明会参加、書類選考、面接などの選考社数いずれもやや増加している。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社強となっており、大学生・大学院生で違いはみられない。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	22.9 (1.7)	12.1 (0.4)	16.6 (2.7)	12.1 (1.8)	10.5 (3.1)	5.4 (-)	6.5 (-)	4.0 (0.8)	2.0 (-0.2)
文系	<u>26.7</u> (4.0)	<u>14.2</u> (1.5)	<u>18.5</u> (3.3)	<u>14.1</u> (3.1)	<u>11.7</u> (3.7)	5.8 (-)	7.1 (-)	<u>4.2</u> (1.0)	<u>2.0</u> (-0.2)
国公立	20.7 (0.9)	13.3 (1.2)	14.1 (1.6)	13.5 (2.7)	11.4 (3.7)	5.5 (-)	7.4 (-)	3.8 (0.6)	<u>2.2</u> (-0.1)
私立	<u>27.5</u> (4.3)	<u>14.3</u> (1.5)	<u>19.1</u> (3.5)	<u>14.2</u> (3.1)	<u>11.7</u> (3.7)	5.9 (-)	7.0 (-)	<u>4.3</u> (1.0)	2.0 (-0.2)
理系	14.7 (-3.3)	7.8 (-1.7)	12.6 (1.2)	8.1 (-0.7)	7.9 (1.7)	4.3 (-)	5.2 (-)	3.5 (0.5)	2.0 (-0.2)
国公立	16.3 (-4.7)	8.0 (-1.3)	11.2 (-1.2)	7.4 (-2.7)	7.4 (0.3)	3.9 (-)	5.1 (-)	3.4 (0.1)	2.0 (-0.3)
私立	14.2 (-2.1)	7.7 (-1.8)	13.1 (2.2)	8.4 (0.3)	8.0 (2.4)	4.5 (-)	5.2 (-)	3.5 (0.6)	2.0 (-0.2)
北海道・東北	14.9 (-8.9)	8.8 (-0.5)	12.9 (0.8)	8.3 (0.2)	6.9 (0.6)	3.9 (-)	4.6 (-)	3.0 (-0.1)	2.0 (-0.1)
関東	<u>27.1</u> (5.5)	<u>13.9</u> (1.6)	<u>18.6</u> (4.4)	<u>14.2</u> (3.3)	<u>12.1</u> (4.3)	5.9 (-)	7.7 (-)	<u>4.3</u> (1.1)	2.2 (-0.2)
中部	21.7 (-0.1)	10.5 (-2.6)	15.3 (1.6)	10.6 (0.5)	9.3 (2.7)	5.1 (-)	5.3 (-)	3.6 (0.8)	1.8 (-0.3)
近畿	21.3 (-1.2)	12.3 (0.0)	17.2 (1.9)	11.9 (0.7)	10.8 (2.3)	5.6 (-)	6.6 (-)	4.2 (0.7)	2.0 (-0.4)
中国・四国	17.8 (2.8)	9.8 (1.3)	12.0 (-1.3)	9.3 (-0.5)	9.1 (1.6)	5.0 (-)	4.8 (-)	3.6 (0.9)	<u>2.2</u> (0.3)
九州	16.7 (1.6)	9.2 (0.5)	13.8 (2.8)	9.6 (2.7)	7.0 (1.9)	3.7 (-)	5.1 (-)	3.4 (0.6)	1.7 (-0.2)
関東+中部+近畿・計	24.6 (2.6)	12.9 (0.4)	17.6 (3.2)	12.9 (2.1)	11.2 (3.5)	5.6 (-)	6.9 (-)	4.1 (0.9)	2.0 (-0.3)
その他	16.3 (-2.2)	9.2 (0.3)	12.9 (0.7)	9.0 (0.7)	7.5 (1.2)	4.1 (-)	4.8 (-)	3.3 (0.4)	2.0 (-0.0)
大学院生	21.5 (3.4)	12.2 (1.2)	13.5 (1.6)	11.7 (1.0)	9.5 (2.3)	4.2 (-)	6.8 (-)	2.9 (0.2)	1.9 (-0.0)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。

* 各活動の文理別/文理×国公立別/地域別で、最も対象企業・団体数の平均値が高いスコアに下線を引いた。

* 2020年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。

* 「面接などの選考」については、今年度より「企業説明会」「選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエント リーした	プレエント リーしたうち、 就職活動開 始前から 知っていた	企業説明会 に参加した	書類選考を 受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を 受けた	内定(内々 定)を取得し た
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	1,476	1,276	1,476	1,542	1,459	1,371	1,213	1,415	1,374
文系	1,001	867	1,007	1,030	988	945	855	969	945
国公立	112	102	113	115	113	105	95	107	106
私立	889	765	895	915	875	839	760	863	839
理系	475	409	468	513	471	426	358	446	429
国公立	119	100	115	133	136	118	107	123	109
私立	356	309	354	380	335	308	251	323	320
北海道・東北	120	98	116	117	114	101	86	108	104
関東	638	570	633	666	615	591	518	593	579
中部	229	196	238	247	249	237	207	238	231
近畿	306	255	305	323	314	301	255	307	293
中国・四国	92	77	94	99	80	73	75	85	85
九州	92	80	89	90	88	68	72	85	83
関東+中部+ 近畿・計	1,173	1,021	1,177	1,237	1,178	1,129	980	1,137	1,103
その他	303	255	299	306	281	242	233	278	272
大学院生	145	134	146	154	153	133	131	150	146

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、プレエントリー社数および企業説明会への参加社数は、文系大学生はそれぞれ、「20～49社」「10～19社」の割合が最も高い。理系大学生はいずれも「1～4社」の割合が最も高い。書類選考を受けた社数は、文系大学生、理系大学生ともに同じく「1～4社」の割合が最も高い。

2020年調査と比べると、国公立大学の理系大学生においてプレエントリー社数や企業説明会参加者数「0社」の学生が大幅に増加している。(図表14)

図表14 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
(資料・採用情報の請求) プレエントリーした	大学生	1,603	7.9 (0.4)	23.2 (-0.2)	12.9 (0.7)	17.0 (-1.9)	25.3 (-0.9)	10.4 (1.5)	3.4 (0.4)
	文系	1,070	6.4 (-0.2)	20.0 (-0.5)	11.7 (1.1)	16.3 (-2.4)	27.9 (-1.9)	13.2 (2.7)	4.5 (1.2)
	国公立	118	5.1 (-5.0)	23.7 (4.5)	8.5 (-3.5)	17.8 (-7.0)	33.2 (9.8)	11.0 (2.3)	0.7 (-1.2)
	私立	951	6.6 (0.4)	19.6 (-1.1)	12.1 (1.7)	16.1 (-1.7)	27.2 (-3.5)	13.4 (2.7)	4.9 (1.5)
	理系	533	10.9 (1.6)	29.5 (0.3)	15.2 (-0.2)	18.3 (-0.8)	20.2 (1.2)	4.7 (-1.1)	1.1 (-1.0)
	国公立	143	16.8 (10.6)	28.7 (-4.0)	9.2 (-1.1)	21.8 (-2.3)	18.6 (-1.2)	2.3 (-2.7)	2.7 (0.5)
	私立	390	8.7 (-2.4)	29.8 (2.6)	17.4 (-0.9)	17.1 (0.7)	20.8 (2.2)	5.6 (-0.6)	0.6 (-1.6)
	大学院生	160	9.4 (2.9)	19.4 (-0.0)	15.0 (0.6)	18.1 (-4.3)	26.3 (-3.6)	10.0 (4.5)	1.9 (-0.1)
企業説明会に参加した	大学生	1,603	7.9 (4.2)	22.0 (-3.5)	17.2 (1.5)	24.4 (-2.4)	21.8 (-2.2)	5.8 (1.9)	1.0 (0.5)
	文系	1,070	5.8 (2.6)	19.6 (-3.2)	15.9 (1.7)	25.5 (-2.0)	24.5 (-2.7)	7.5 (2.9)	1.1 (0.7)
	国公立	118	4.9 (-2.4)	27.2 (4.2)	13.2 (-4.2)	32.5 (2.7)	18.3 (-2.0)	3.9 (1.9)	0.2 (-0.2)
	私立	951	6.0 (3.3)	18.7 (-4.1)	16.2 (2.4)	24.7 (-2.5)	25.3 (-2.9)	7.9 (3.0)	1.2 (0.8)
	理系	533	12.2 (7.4)	26.6 (-4.0)	19.9 (1.2)	22.1 (-3.4)	16.2 (-1.3)	2.4 (-0.0)	0.7 (0.3)
	国公立	143	19.9 (14.3)	24.8 (-12.2)	18.3 (8.7)	21.6 (-1.3)	12.6 (-8.8)	2.7 (0.5)	- (-1.2)
	私立	390	9.4 (4.9)	27.2 (0.2)	20.4 (-3.4)	22.3 (-4.7)	17.5 (2.2)	2.2 (-0.3)	1.0 (1.0)
	大学院生	160	8.8 (3.8)	23.1 (-2.7)	23.8 (0.9)	18.8 (-4.6)	21.3 (0.9)	4.4 (2.4)	- (-0.5)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も割合が高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
書類選考を受けた	大学生	1,603	3.8 (-1.2)	35.2 (1.4)	18.6 (-1.2)	19.7 (-5.4)	18.4 (3.9)	4.1 (2.3)	0.2 (0.2)
	文系	1,070	3.8 (-0.0)	30.2 (-1.0)	17.1 (-1.9)	21.5 (-5.3)	21.5 (3.9)	5.7 (4.1)	0.3 (0.2)
	国公立	118	3.2 (-1.8)	30.0 (-0.8)	17.6 (-1.5)	19.2 (-10.8)	27.1 (14.7)	2.9 (0.4)	- (-)
	私立	951	3.8 (0.2)	30.2 (-1.0)	17.0 (-2.0)	21.8 (-4.6)	20.8 (2.5)	6.0 (4.6)	0.3 (0.3)
	理系	533	3.8 (-3.4)	45.3 (6.2)	21.7 (0.2)	16.3 (-5.5)	12.2 (3.9)	0.8 (-1.4)	- (-)
	国公立	143	6.9 (-0.3)	43.2 (4.3)	25.2 (7.9)	12.6 (-9.2)	11.7 (1.2)	0.4 (-3.9)	- (-)
	私立	390	2.7 (-4.5)	46.1 (6.9)	20.4 (-3.4)	17.6 (-4.1)	12.3 (5.3)	1.0 (-0.1)	- (-)
	大学院生	160	3.8 (0.3)	31.9 (1.0)	21.9 (-2.5)	16.3 (-7.6)	24.4 (8.5)	1.9 (0.4)	- (-)
面接などの選考を受けた (対面+Web)	大学生	1,603	9.0 (5.6)	34.8 (-6.3)	20.5 (-6.0)	19.7 (-1.2)	14.0 (5.9)	2.1 (2.0)	- (-0.0)
	文系	1,070	7.7 (4.5)	31.8 (-4.6)	19.7 (-6.4)	21.2 (-3.9)	16.9 (7.9)	2.7 (2.5)	- (-0.0)
	国公立	118	4.4 (0.1)	32.4 (-4.3)	16.6 (-11.9)	29.3 (7.6)	14.9 (6.6)	2.4 (2.2)	- (-0.2)
	私立	951	8.1 (5.1)	31.8 (-4.6)	20.1 (-5.7)	20.2 (-5.4)	17.2 (8.1)	2.7 (2.6)	- (-)
	理系	533	11.6 (7.9)	40.7 (-9.7)	22.2 (-5.1)	16.5 (4.2)	8.2 (1.9)	0.8 (0.8)	- (-)
	国公立	143	5.0 (-0.3)	48.9 (-1.1)	18.2 (-2.4)	18.3 (4.2)	9.6 (-0.3)	- (-)	- (-)
	私立	390	14.0 (11.2)	37.7 (-12.9)	23.6 (-7.4)	15.8 (4.7)	7.7 (3.4)	1.1 (1.1)	- (-)
	大学院生	160	4.4 (0.9)	35.0 (-7.3)	25.0 (-1.9)	23.1 (3.7)	11.3 (3.8)	1.3 (0.8)	- (-)
面接などの選考を受けた (対面)	大学生	1,603	14.5	50.0	20.5	11.0	3.9	0.3	-
	文系	1,070	11.7	47.3	22.0	13.7	5.2	0.0	-
	国公立	118	11.0	50.7	21.3	11.4	5.6	-	-
	私立	951	11.8	46.9	22.1	14.0	5.2	0.0	-
	理系	533	20.0	55.3	17.4	5.5	1.1	0.7	-
	国公立	143	17.6	59.5	13.8	8.8	0.4	-	-
	私立	390	20.9	53.8	18.7	4.2	1.4	1.0	-
	大学院生	160	16.9	58.1	16.3	6.3	2.5	-	-
面接などの選考を受けた (Web)	大学生	1,603	24.3	39.9	15.9	13.2	6.6	0.2	-
	文系	1,070	20.1	39.1	17.0	15.2	8.2	0.3	-
	国公立	118	20.2	36.3	12.6	22.5	8.3	-	-
	私立	951	20.1	39.5	17.6	14.3	8.2	0.3	-
	理系	533	32.8	41.4	13.5	9.1	3.3	-	-
	国公立	143	24.8	52.2	7.6	8.8	6.5	-	-
	私立	390	35.7	37.4	15.7	9.2	2.1	-	-
	大学院生	160	18.1	42.5	18.8	13.1	6.9	0.6	-

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も割合が高い区分を**赤太字**にした。
 * 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
 * 「面接などの選考」については、今年度より「企業説明会」「選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

	n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
		0社	1~4社	5~9社	10~19社			
最終面接を受けた	大学生	1,603	11.7 (5.6)	63.9 (-8.2)	16.5 (-2.1)	6.9 (3.8)	1.1 (0.9)	- (-)
	文系	1,070	9.4 (3.7)	64.8 (-6.3)	16.8 (-3.1)	7.4 (4.3)	1.7 (1.4)	- (-)
	国公立	118	10.0 (0.7)	63.6 (-5.7)	22.2 (4.3)	3.2 (0.6)	1.0 (0.1)	- (-)
	私立	951	9.3 (4.1)	65.0 (-6.4)	16.1 (-4.1)	7.9 (4.7)	1.7 (1.6)	- (-)
	理系	533	16.3 (9.5)	62.0 (-12.0)	15.8 (-0.1)	5.9 (2.7)	- (-0.1)	- (-)
	国公立	143	14.1 (3.3)	68.7 (4.6)	9.6 (-10.0)	7.6 (2.4)	- (-0.3)	- (-)
	私立	390	17.1 (12.5)	59.5 (-20.0)	18.1 (4.3)	5.2 (3.3)	- (-)	- (-)
大学院生	160	6.3 (0.3)	80.0 (0.9)	10.0 (-4.4)	3.8 (3.3)	- (-)	- (-)	

	n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上	
内定（内々定）を取得した	大学生	1,603	14.3 (5.6)	42.6 (4.5)	21.7 (-2.6)	10.3 (-3.5)	4.7 (-1.6)	6.4 (-2.4)
	文系	1,070	11.7 (3.7)	42.7 (5.6)	23.0 (-1.2)	11.4 (-4.7)	5.3 (-0.6)	5.8 (-2.9)
	国公立	118	10.7 (0.6)	33.6 (-4.3)	29.5 (8.2)	13.9 (2.5)	6.3 (-1.5)	5.9 (-5.5)
	私立	951	11.8 (4.1)	43.9 (6.9)	22.2 (-2.4)	11.1 (-5.7)	5.2 (-0.4)	5.8 (-2.5)
	理系	533	19.4 (9.4)	42.4 (2.3)	19.1 (-5.5)	7.9 (-1.2)	3.6 (-3.8)	7.6 (-1.3)
	国公立	143	23.7 (9.7)	40.1 (3.3)	23.2 (1.3)	3.1 (-6.2)	1.5 (-5.9)	8.4 (-2.2)
	私立	390	17.9 (10.1)	43.2 (1.3)	17.7 (-8.5)	9.7 (0.7)	4.3 (-3.0)	7.3 (-0.6)
大学院生	160	8.8 (2.3)	46.9 (-0.4)	21.3 (-1.6)	15.6 (1.7)	3.8 (-1.7)	3.8 (-0.2)	

*カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。

*属性ごとに最も割合が高い区分を**赤太字**にした。

*2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

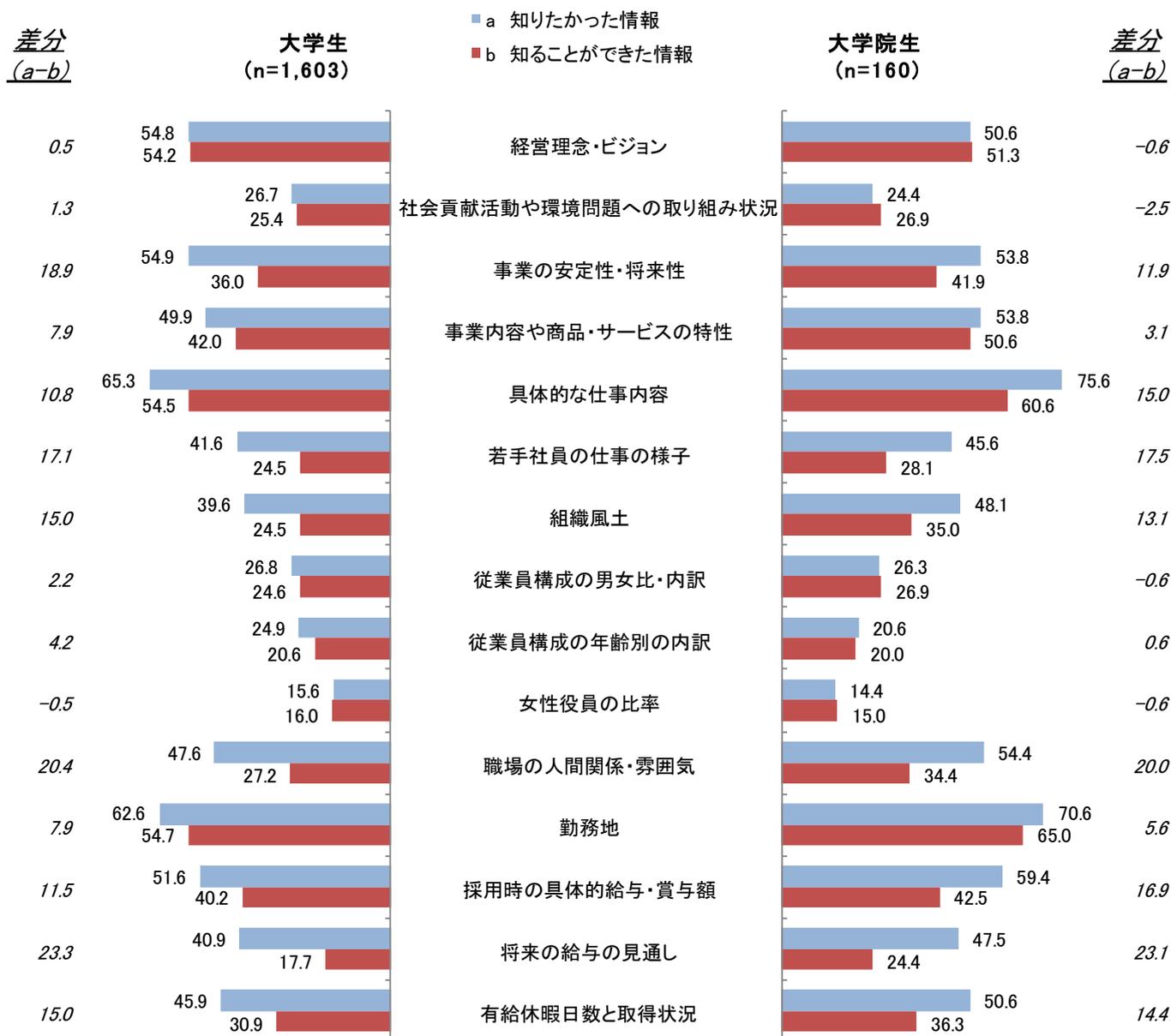
⑧知りたかった情報、知ることができた情報

大学生が就職活動中に知りたかった情報は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」「経営理念・ビジョン」の順に高く、知ることができた情報との差が大きいのは「将来の給与の見通し」「職場の人間関係・雰囲気」。

大学生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」「経営理念・ビジョン」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「職場の人間関係・雰囲気」「事業の安定性・将来性」「若手社員の仕事の様子」の順に大きい。

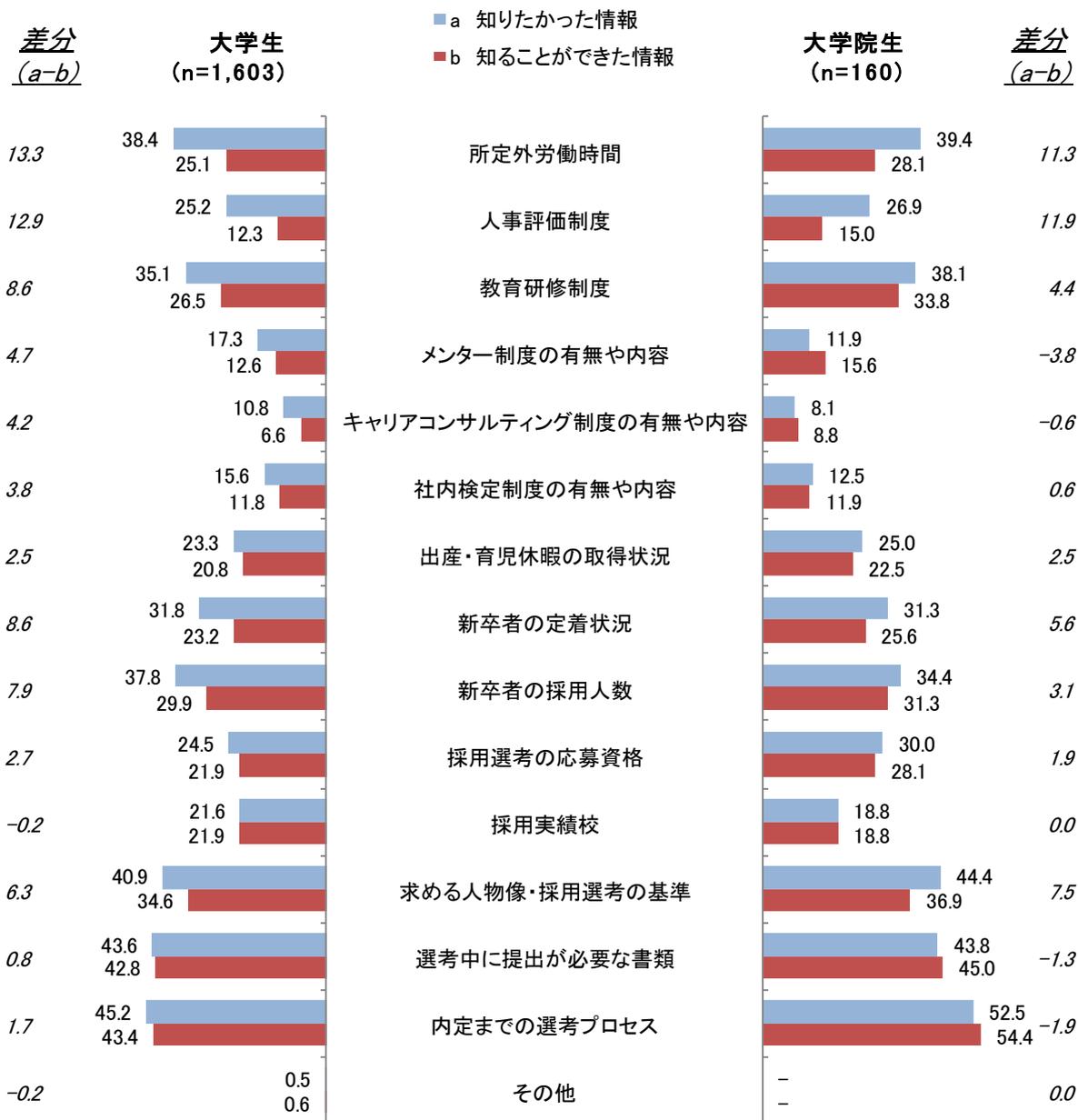
大学院生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「採用時の具体的給与・賞与額」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「職場の人間関係・雰囲気」「若手社員の仕事の様子」の順に大きい。(図表15)

図表15 就職活動中に知りたかった情報、知ることができた情報(複数回答、単位=%)



⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き

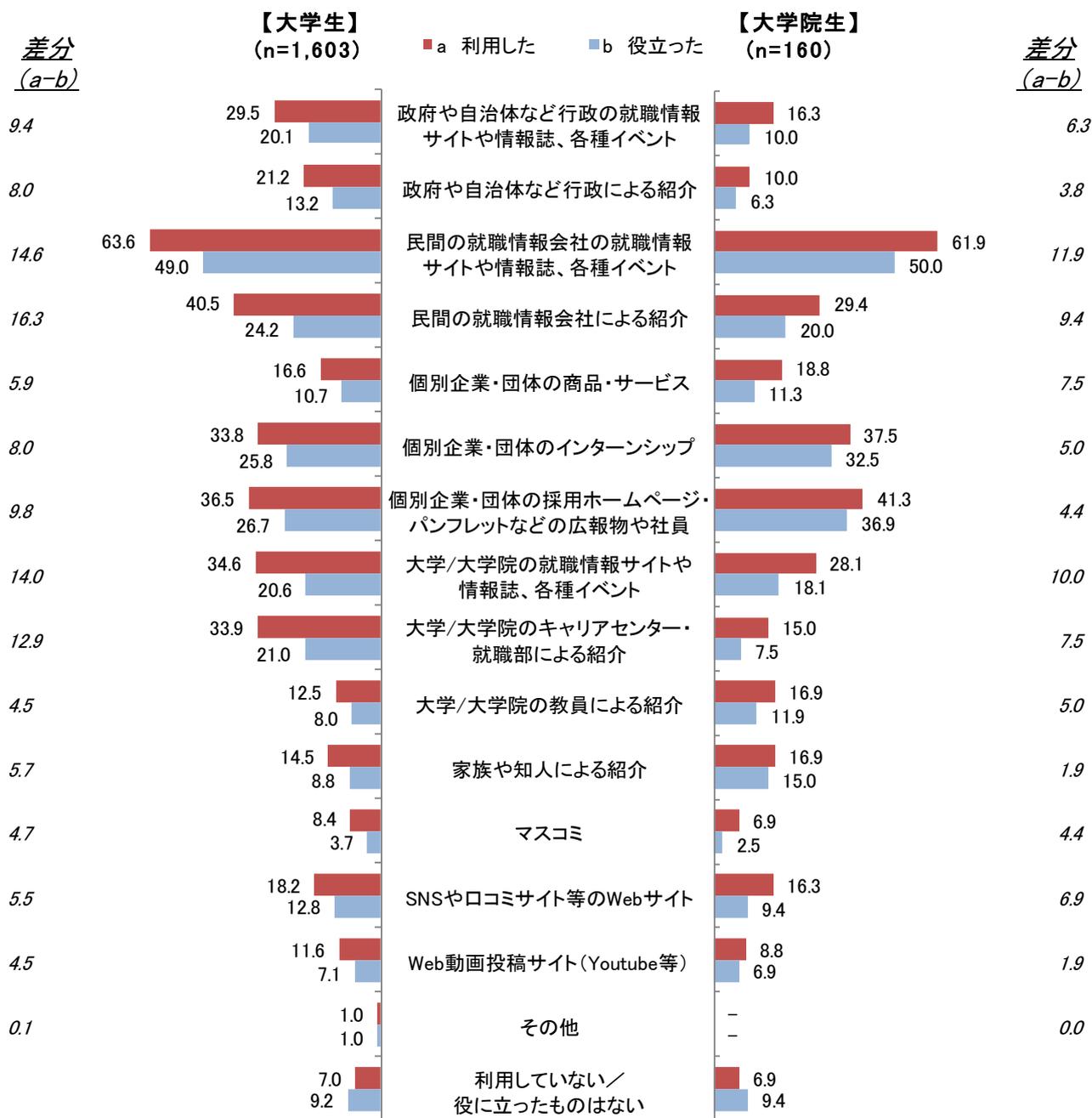


⑨就職予定先に関する情報源

企業・団体等を選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。

企業・団体等を選ぶときの情報源として利用したものは、大学生・大学院生ともに、「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。大学生が利用した割合が2番目に高いのは、「民間の就職情報会社による紹介」であった。大学院生が利用した割合が2番目に高いのは、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」であった。(図表16)

図表16 就職活動を通して、企業・団体等を選ぶときの情報源(複数回答、単位=%)



⑨就職予定先に関する情報源

最終的な就職予定先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。2020年調査と比べると、国公立大学の理系大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」「大学のキャリアセンター・就職部による紹介」が大幅に減少している。(図表17)

図表17 就職確定者の最終的な就職予定先の認知経路(複数回答、単位=%)

n=		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント
大学生	1,297	16.8 (3.4)	7.6 (1.6)	41.0 (-2.2)	23.1 (3.9)	9.2 (2.5)	12.8 (1.8)	16.1 (1.8)	19.1 (0.9)
文系	906	17.7 (2.8)	7.9 (1.5)	43.7 (0.1)	24.9 (6.6)	9.9 (2.4)	12.5 (2.2)	16.9 (1.8)	17.1 (-0.2)
国公立	105	19.5 (1.8)	11.1 (1.3)	47.6 (2.0)	21.4 (3.0)	15.2 (7.3)	12.4 (1.1)	20.4 (2.8)	17.9 (3.2)
私立	801	17.5 (3.0)	7.5 (1.6)	43.2 (-0.1)	25.3 (7.0)	9.2 (1.8)	12.5 (2.4)	16.5 (1.7)	17.1 (-0.7)
理系	391	14.7 (4.5)	6.9 (1.7)	34.8 (-7.5)	19.1 (-2.0)	7.6 (2.5)	13.6 (1.2)	14.1 (1.5)	23.6 (3.6)
国公立	103	11.7 (-3.9)	8.5 (4.2)	30.8 (-16.6)	23.9 (-0.8)	8.0 (-1.9)	12.2 (-4.3)	21.2 (0.7)	17.0 (-4.1)
私立	288	15.8 (8.3)	6.4 (0.7)	36.3 (-3.5)	17.4 (-1.9)	7.4 (4.8)	14.1 (3.7)	11.6 (3.0)	26.0 (6.5)
大学院生	143	9.8 (-1.4)	2.8 (-1.7)	38.5 (-0.6)	18.9 (-0.1)	9.1 (-2.1)	11.2 (-0.5)	18.9 (-4.6)	21.0 (-3.0)

n=		大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	SNSや口コミサイト等のWebサイト※1	Web動画投稿サイト(Youtube等)※1	その他	わからない・覚えていない
大学生	1,297	18.2 (0.3)	6.8 (1.3)	9.8 (1.2)	2.2 (-0.9)	4.1	1.5	2.6 (0.4)	5.5 (0.9)
文系	906	15.8 (-0.2)	4.1 (0.5)	11.2 (2.6)	2.6 (-0.9)	3.9	2.1	2.7 (1.0)	5.0 (-1.0)
国公立	105	15.1 (1.8)	3.3 (-0.1)	12.3 (0.2)	5.2 (1.2)	4.1	2.2	2.8 (0.8)	4.1 (-1.6)
私立	801	15.9 (-0.5)	4.2 (0.6)	11.1 (3.0)	2.2 (-1.2)	3.9	2.1	2.7 (1.0)	5.1 (-0.9)
理系	391	23.9 (2.0)	13.0 (3.6)	6.6 (-2.2)	1.2 (-1.1)	4.6	0.2	2.3 (-0.8)	6.9 (5.1)
国公立	103	9.5 (-15.1)	9.3 (-2.8)	4.8 (-7.3)	- (-4.7)	1.6	-	6.4 (6.4)	12.2 (9.5)
私立	288	29.0 (8.6)	14.3 (6.4)	7.2 (0.1)	1.6 (0.6)	5.7	0.3	0.8 (-3.8)	5.0 (3.7)
大学院生	143	10.5 (-5.2)	11.9 (-0.4)	16.1 (1.6)	3.5 (-2.1)	7.0	3.5	4.9 (2.1)	4.2 (0.8)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

※1: 前回は非聴取。

⑩就職予定先を選ぶときの重視点

**就職予定先を選ぶときの重視点は、大学生は「勤務地」、大学院生は「業種」の割合が最も高い。
大学生は「勤務時間・休暇」、大学院生は「専攻などの経験」「給与水準」の割合も高い。**

就職確定者が就職予定先を選ぶときの重視点は、大学生は「勤務地」、大学院生は「業種」の割合が最も高い。大学生では「業種」「勤務時間・休暇」の割合も高い。大学院生では「大学院の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」「給与水準」の割合も高い。(図表18)

図表18 就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系		理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 ・ 中国	九州	大学院生 (160)		
		国 公立	私 立	国 公立	私 立									
業種	48.4	48.0	50.3	47.7	49.2	55.0	47.1	43.4	50.9	47.9	44.5	54.0	46.4	54.4
職制(コース)※1	24.2	28.0	25.6	28.3	16.5	16.1	16.7	13.7	24.6	25.7	24.1	29.6	25.7	26.3
職種※2	32.5	32.9	35.4	32.6	31.8	34.8	30.7	40.1	32.5	28.8	32.3	31.9	34.7	34.4
勤務地	50.9	51.0	55.6	50.4	50.6	54.3	49.2	68.8	47.3	58.6	43.6	45.5	61.9	51.3
雇用形態	28.1	29.6	34.9	29.0	25.0	29.1	23.6	39.5	26.1	29.9	25.5	25.3	34.2	20.6
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	13.1	13.3	19.8	12.5	12.7	19.9	10.1	8.5	13.4	14.5	14.4	9.6	12.3	11.9
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	6.5	7.4	5.1	7.7	4.8	6.1	4.3	0.9	7.0	7.7	7.5	1.7	8.8	5.0
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	14.5	12.5	11.2	12.7	18.4	17.8	18.6	10.2	14.7	15.0	14.5	17.1	15.0	29.4
従業員規模	10.7	10.8	14.5	10.4	10.4	9.9	10.5	3.6	10.6	15.4	12.2	3.2	9.9	8.1
知名度	12.4	13.5	15.2	13.3	10.1	8.0	10.8	4.5	16.0	15.0	8.3	7.9	8.7	10.0
経営理念・ビジョン	17.9	18.4	22.5	17.9	16.8	16.4	16.9	15.4	17.9	18.7	19.3	17.9	13.8	16.9
事業の安定性・将来性	28.7	30.0	36.9	29.1	26.3	29.3	25.2	30.0	29.8	26.1	32.6	20.2	21.8	30.6
給与水準	31.8	32.3	37.1	31.7	30.7	32.7	29.9	35.6	30.2	36.7	33.3	27.4	24.1	40.0
勤務時間・休暇	36.4	36.0	41.1	35.4	37.0	42.4	35.1	40.4	34.2	41.8	34.4	37.5	37.5	34.4
組織風土・職場の人間関係	26.6	28.1	31.4	27.7	23.6	27.8	22.1	23.2	28.5	30.0	22.6	24.7	24.6	30.0
内定取得の可能性	21.8	22.7	19.8	23.1	19.9	12.6	22.5	17.0	21.5	29.2	22.3	13.4	16.5	23.1
就職活動の負荷・手間	12.7	13.2	11.7	13.4	11.7	8.4	12.9	8.8	11.9	16.8	13.8	7.6	13.2	11.3
その他	6.0	5.4	2.4	5.8	7.1	7.3	7.1	4.0	6.6	4.7	5.9	2.6	11.8	4.4

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

①在学中に実施したこと

**在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「修論」の割合が最も高い。
大学院生は「資格取得・検定受検のための学習活動」の割合が大幅に増加。**

在学中に実施していた活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」の割合が最も高い。属性別にみると、理系大学生より文系大学生の方が「海外留学」「ボランティア」「資格取得・検定受検のための学習活動」の割合が高い。

2020年調査と比べると、大学院生では「資格取得・検定受検のための学習活動」の割合が大幅に増加した。(図表19)

図表19 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 ・ 中国	九州	大学院生		
	(n=)	(1,603)	(1,070)	(118)	(951)								(533)	(143)
海外留学	11.0 (-3.0)	14.2 (-3.0)	20.7 (0.9)	13.4 (-3.5)	4.7 (-3.1)	5.4 (-6.2)	4.5 (-1.2)	6.8 (-6.8)	13.9 (0.4)	9.4 (-5.0)	11.7 (-5.5)	4.2 (-5.9)	5.3 (-5.2)	15.6 (0.2)
サークル活動	37.2 (3.2)	37.1 (1.7)	50.0 (9.9)	35.4 (0.7)	37.6 (6.2)	41.5 (8.6)	36.1 (5.6)	30.7 (-5.6)	42.8 (6.9)	32.9 (-2.3)	34.7 (2.6)	26.9 (1.9)	37.1 (4.1)	38.8 (-5.0)
部活動	16.4 (-4.2)	17.3 (-2.2)	32.8 (3.5)	15.4 (-2.8)	14.5 (-8.2)	18.3 (-12.7)	13.1 (-4.9)	19.8 (-5.0)	15.2 (-4.7)	17.3 (1.0)	17.6 (-4.1)	13.7 (-20.1)	16.3 (1.9)	21.3 (-6.6)
ボランティア	21.5 (0.7)	24.0 (1.4)	33.5 (1.6)	22.8 (1.6)	16.4 (-0.7)	17.6 (-0.8)	15.9 (-0.4)	28.5 (6.7)	18.4 (-0.9)	28.0 (4.5)	17.1 (-3.1)	26.8 (4.9)	26.6 (6.0)	13.8 (-1.2)
アルバイト	75.6 (2.4)	76.6 (1.5)	85.1 (6.1)	75.5 (1.0)	73.6 (4.2)	65.2 (-1.9)	76.6 (6.0)	82.1 (5.8)	75.3 (3.5)	75.9 (-2.1)	75.4 (4.5)	75.3 (2.3)	68.7 (-2.4)	78.8 (-0.4)
インターンシップ	44.2 (3.8)	43.8 (4.9)	52.4 (6.9)	42.7 (4.7)	44.9 (1.7)	38.8 (-5.3)	47.1 (4.4)	38.2 (2.8)	46.3 (1.9)	48.4 (5.8)	38.6 (2.9)	40.3 (4.6)	48.6 (11.7)	53.1 (-0.1)
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	12.5 (-0.9)	14.0 (-1.2)	31.1 (6.0)	11.9 (-2.0)	9.5 (-0.2)	18.0 (5.9)	6.5 (-2.1)	14.1 (-4.2)	11.1 (-2.3)	14.8 (2.4)	11.9 (-3.1)	18.7 (7.4)	10.8 (3.0)	10.0 (1.0)
英語などの外国語学習	19.9 (0.5)	21.7 (-0.1)	27.0 (1.4)	21.1 (-0.2)	16.3 (1.7)	18.3 (-0.9)	15.5 (3.6)	19.1 (7.5)	21.4 (3.5)	22.7 (0.8)	19.2 (-5.8)	9.7 (-6.4)	16.1 (0.7)	31.9 (3.5)
趣味など、自分の興味がある分野の活動	43.9 (-1.2)	44.6 (-0.8)	52.5 (7.5)	43.6 (-1.8)	42.5 (-2.1)	32.3 (-7.7)	46.2 (-0.9)	46.2 (12.4)	42.1 (-4.1)	50.6 (2.2)	41.6 (-5.1)	42.3 (-6.5)	45.4 (10.4)	54.4 (7.1)
スポーツ関連の活動	9.7 (0.3)	9.4 (-0.9)	16.9 (2.9)	8.4 (-1.3)	10.5 (2.7)	11.9 (0.1)	9.9 (4.4)	14.9 (5.4)	9.8 (-1.1)	8.6 (2.8)	10.6 (2.8)	5.2 (-9.0)	7.6 (-4.9)	15.0 (3.1)
資格取得・検定受検のための学習活動	32.4 (-1.9)	35.0 (0.2)	41.9 (5.6)	34.1 (-0.4)	27.3 (-6.2)	19.3 (-8.3)	30.2 (-6.6)	35.3 (-1.9)	29.4 (-1.1)	35.5 (-1.8)	34.3 (-4.6)	38.7 (3.0)	28.9 (1.3)	43.1 (13.8)
ゼミや研究室での活動	52.8 (-1.4)	51.7 (-0.5)	73.9 (8.9)	49.0 (-1.5)	54.9 (-3.3)	53.7 (-4.2)	55.3 (-3.0)	50.1 (-8.3)	54.0 (-0.9)	59.7 (3.4)	46.7 (-2.7)	49.2 (-12.4)	53.0 (5.9)	76.3 (-2.4)
授業への出席	64.1 (1.6)	63.3 (0.1)	76.8 (5.7)	61.7 (-0.4)	65.6 (4.5)	65.6 (8.2)	65.6 (2.3)	64.6 (6.1)	64.4 (0.8)	68.3 (3.9)	60.3 (-1.4)	55.4 (-13.1)	71.3 (19.3)	73.8 (-1.9)
卒論、卒業研究、修論	58.3 (-0.9)	54.9 (0.6)	73.7 (9.4)	52.6 (-0.4)	65.0 (-4.0)	66.4 (-0.7)	64.4 (-5.5)	51.2 (-3.8)	56.1 (-2.2)	65.3 (3.2)	57.2 (0.9)	59.2 (-16.8)	67.0 (12.8)	85.6 (3.0)
あてはまるものはない	4.2 (0.2)	3.4 (-0.6)	0.7 (-1.2)	3.8 (-0.6)	5.7 (2.0)	7.6 (4.9)	4.9 (0.7)	6.7 (4.0)	3.5 (-0.2)	3.7 (1.7)	5.8 (1.2)	0.9 (-1.4)	4.9 (-7.7)	3.1 (0.1)

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。* 属性ごとに最も高い区分を赤太字にした。

* 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑫就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「大学の授業・研究」の割合が最も高い。大学生で「大学の授業・研究」の割合が減少。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生では「アルバイト」の割合が最も高い。ついで「スポーツ関連の活動」が高い。大学院生では「大学の授業・研究」の割合が最も高い。ついで「アルバイト」が高い。

2020年調査と比べると、大学生では「大学の授業・研究」の割合が減少している。大学院生では、「趣味など、自分の興味がある分野の活動」の割合が大きく減少している。(図表20)

*「支障が生じた」「やや支障が生じた」の回答者を合計

図表20 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(単一回答、単位=%)

▼回答者数(単位=人)

	支障状況(%)			大学院生	回答者数(単位=人)			
	大学生	文系	理系		大学生	文系	理系	大学院生
大学の授業・研究	31.6 (-6.4)	31.2 (-6.3)	32.5 (-6.6)	41.9 (-5.9)	1,603	1,070	533	160
海外留学	26.1 (0.8)	26.6 (1.4)	23.0 (-2.7)	4.0 (-8.9)	177	152	25	25
サークル活動	22.2 (-1.7)	25.9 (1.6)	15.0 (-8.1)	16.1 (2.5)	597	396	200	62
部活動	32.2 (-5.7)	37.4 (-0.0)	19.7 (-19.1)	20.6 (2.7)	263	185	77	34
ボランティア	17.2 (-2.3)	17.8 (1.1)	15.5 (-11.5)	13.6 (7.0)	344	257	87	22
アルバイト	42.2 (-3.8)	45.2 (-1.1)	36.1 (-9.5)	34.1 (-8.0)	1,211	819	392	126
インターンシップ	19.9 (1.6)	19.6 (1.1)	20.5 (2.6)	16.5 (1.5)	708	468	239	85
資格取得・語学習得など 大学外の学習	23.4 (1.1)	24.2 (3.1)	21.8 (-2.9)	17.5 (1.6)	1,603	1,070	533	160
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	35.3 (3.7)	37.2 (7.4)	31.3 (-4.1)	19.5 (-16.2)	704	477	227	87
スポーツ関連の活動	36.2 (2.7)	39.9 (13.6)	29.5 (-22.9)	16.7 (0.0)	156	100	56	24

※支障が生じた・計:「支障が生じた」+「やや支障が生じた」

* カッコ内は2020年とのスコア差を掲載。* 属性ごとに最も割合が高い区分を**赤太字**にした。
 * 2020年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けにした。
 (回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満は青色の文字色にした。

⑬自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】

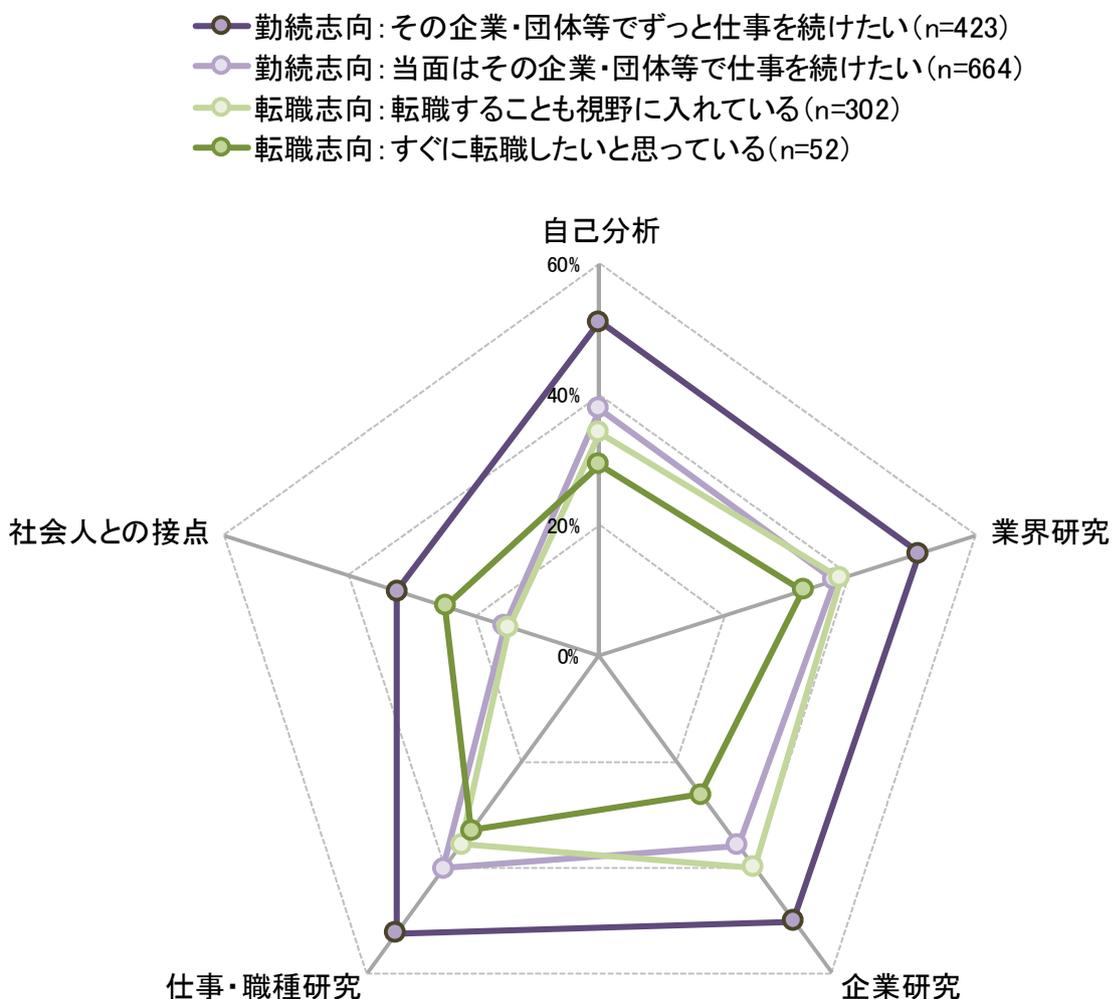
就職予定先に「勤続志向」であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等が十分であったと自己評価している傾向がある。

就職予定先に「勤続志向」（「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」）であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分（*）であったと自己評価する割合が高い。一方、「転職志向」（「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」）であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「すぐに転職したいと思っている」学生においては、「企業研究」について十分だと思っている割合が低い。（図表21-1）

*「十分」「どちらかというと十分」の回答者を合計

図表21-1 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】（単一回答、単位=%）

※スコアは十分・計（「十分」+「どちらかというと十分」）



⑬ 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】

図表21-2 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】(単一回答、単位=%)
※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかというと十分」)

		自己分析	業界研究	企業研究	仕事・職種研究	社会人との接点
	n=					
大学生	1,603	37.8	37.7	37.1	39.3	18.8
文系	1,070	38.6	38.7	38.4	40.2	20.2
国公立	118	32.5	32.2	36.9	32.7	14.2
私立	951	39.3	39.6	38.6	41.2	20.9
理系	533	36.2	35.7	34.5	37.4	16.1
国公立	143	40.5	34.4	28.3	33.6	14.1
私立	390	34.6	36.2	36.8	38.8	16.8
北海道・東北	126	44.5	30.3	33.1	39.9	15.7
関東	686	34.7	37.8	39.1	39.4	18.7
中部	261	40.1	39.0	36.7	35.3	20.5
近畿	334	33.8	38.2	36.8	36.4	19.3
中国・四国	99	53.2	41.9	43.2	56.1	17.9
九州	97	42.8	37.4	24.6	41.3	18.3
大学院生	160	40.0	41.9	39.4	40.0	18.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑭ 就職予定先に対するイメージ

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「この就職によって将来のキャリアは万全だ」「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」等のイメージを持っている。

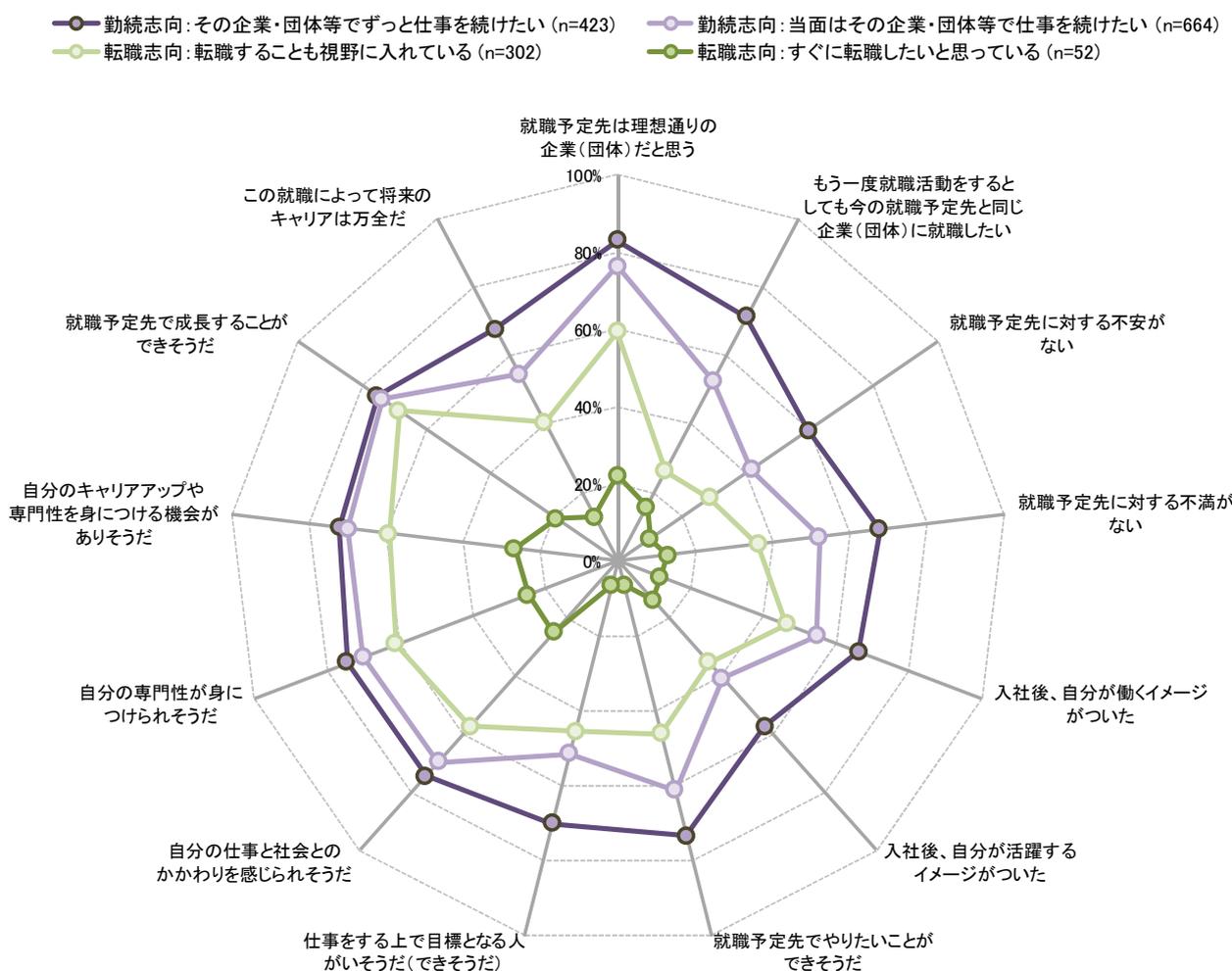
就職予定先に「勤続志向」(「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい)であった学生は、就職予定先のイメージについて「あてはまる・計」(*)の割合が高い。特に「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」と回答した学生では、「この就職によって将来のキャリアは万全だ」「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」「就職予定先に対する不安がない」等の項目について、他の学生に比べて「あてはまる・計」の割合がとて高い。

「すぐに転職したいと思っている」と回答した学生では特に、「就職予定先でやりたいことができそうだ」「仕事をする上で目標となる人がいそうだ(できそうだ)」について、「あてはまる・計」の割合がとて低い。(図表22-1)

*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答者を合計

図表22-1 就職予定先に対するイメージ(単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)



⑭ 就職予定先に対するイメージ

図表22-2 就職予定先のイメージ(単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)

	大学生	文系			理系			東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生
	(n=)	(1,603)	(1,070)	(118)	(951)	(533)	(143)							
就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う	58.0	61.8	69.3	60.9	50.5	55.3	48.8	61.3	55.8	54.3	58.0	63.0	74.9	73.8
もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい	40.1	40.5	42.9	40.2	39.3	50.8	35.1	48.1	35.9	42.7	38.3	49.2	49.6	60.0
就職予定先に対する不安がない	34.5	36.1	37.6	35.9	31.5	37.7	29.2	37.7	31.8	33.1	35.8	54.3	29.4	41.9
就職予定先に対する不満がない	41.6	43.3	52.3	42.2	38.2	42.3	36.7	42.4	42.2	37.0	38.1	49.2	53.0	51.3
入社後、自分が働くイメージが合った	43.4	45.3	46.6	45.1	39.7	44.3	38.0	44.4	45.1	37.6	39.7	48.3	54.0	58.1
入社後、自分が活躍するイメージが合った	34.3	36.8	36.6	36.8	29.4	31.0	28.8	43.1	34.5	30.9	36.0	31.8	27.2	46.3
就職予定先でやりたいことができそう	46.9	48.2	62.0	46.5	44.3	50.1	42.2	52.7	47.3	42.7	43.8	48.3	57.8	66.9
仕事をする上で目標となる人がいそう(できそう)	42.9	46.1	49.3	45.7	36.5	43.4	34.0	43.1	44.0	35.7	39.1	59.9	49.7	56.9
自分の仕事と社会とのかかわりを感じられそう	53.1	56.5	63.7	55.6	46.3	47.4	45.9	55.8	54.3	50.3	47.7	58.0	62.8	69.4
自分の専門性が身につけられそう	54.0	55.9	59.4	55.4	50.1	54.1	48.6	51.5	52.3	54.3	51.6	62.0	68.0	69.4
自分のキャリアアップや専門性を身につける機会がありそう	52.9	55.7	64.9	54.6	47.2	43.4	48.6	52.7	55.5	50.9	50.2	46.1	56.3	70.6
就職予定先で成長することができそう	56.6	60.2	65.9	59.5	49.3	44.2	51.2	64.4	56.8	58.3	52.0	50.3	62.1	72.5
この就職によって将来のキャリアは万全だ	42.7	43.8	44.2	43.7	40.7	45.3	39.0	47.6	42.3	41.3	42.0	51.2	37.6	58.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

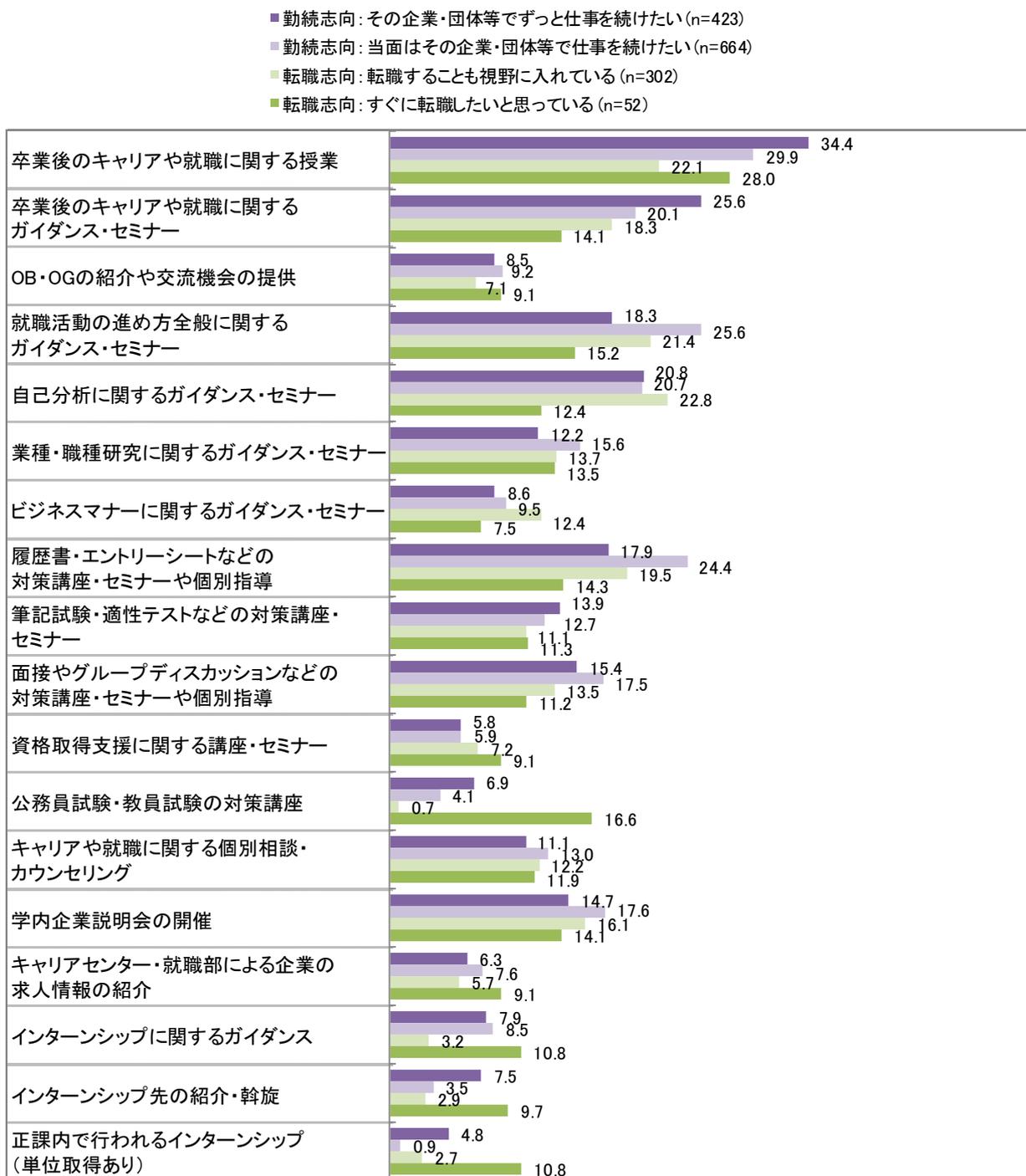
⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している。特に「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」学生の評価が高い。

就職予定先に「勤続志向」（「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」）であった学生の、大学・大学院の就職支援で役立った点としては、「就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー」「履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導」「面接やグループディスカッションなどの対策講座・セミナーや個別指導」といった就活ノウハウに関する支援だけでなく、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」の割合が高い。特に「その企業・団体等ですっと仕事を続けたい」学生では、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」の割合が最も高い。

（図表23-1）

図表23-1 大学・大学院の就職支援で役立った点（複数回答、単位=%）



⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

図表23-2 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		東北		関東	中部	近畿	四国・中国	九州	大学院生	
	(n=)	(1,603)	(1,070)	(118)	(951)	(533)	(143)	(390)	(126)	(686)	(261)	(334)	(99)	(97)
卒業後のキャリアや就職に関する授業	29.8	30.7	23.7	31.5	28.0	25.6	28.9	28.5	28.1	32.6	27.6	28.6	44.5	11.9
卒業後のキャリアや就職に関するガイダンス・セミナー	21.3	21.4	25.4	20.9	21.1	17.4	22.4	21.7	20.8	18.0	20.1	27.1	31.7	9.4
OB・OGの紹介や交流機会の提供	8.6	9.3	8.6	9.4	7.2	9.9	6.2	7.6	7.3	11.3	9.5	4.6	13.3	9.4
就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー	22.5	22.1	18.6	22.6	23.3	22.0	23.7	23.6	21.3	31.2	19.3	21.3	18.8	13.1
自己分析に関するガイダンス・セミナー	19.9	19.5	19.2	19.5	20.7	16.8	22.2	16.3	18.8	27.5	16.0	20.7	24.1	11.9
業種・職種研究に関するガイダンス・セミナー	13.9	13.7	13.2	13.8	14.2	16.1	13.5	12.4	15.1	14.6	11.3	13.1	14.4	10.0
ビジネスマナーに関するガイダンス・セミナー	10.2	9.8	6.3	10.2	11.1	5.7	13.1	10.8	9.4	14.8	8.7	7.0	11.3	5.0
履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導	20.8	19.3	14.1	19.9	23.7	14.8	27.0	16.6	17.2	30.3	20.4	22.1	25.1	11.9
筆記試験・適性テストなどの対策講座・セミナー	12.1	12.2	11.7	12.2	11.8	9.2	12.8	7.4	9.7	16.1	12.5	16.7	18.1	7.5
面接やグループディスカッションなどの対策講座・セミナーや個別指導	15.4	14.7	14.1	14.8	16.8	14.5	17.7	10.0	14.1	19.6	15.3	18.1	18.2	8.1
資格取得支援に関する講座・セミナー	6.7	7.2	4.9	7.5	5.6	3.1	6.5	11.1	5.9	5.7	9.0	1.4	6.6	1.9
公務員試験・教員試験の対策講座	4.7	5.8	8.1	5.6	2.5	3.1	2.3	2.9	4.5	5.8	4.5	5.3	6.1	-
キャリアや就職に関する個別相談・カウンセリング	12.4	12.0	10.0	12.3	13.2	5.7	16.0	13.7	12.1	16.2	9.4	14.2	11.7	7.5
学内企業説明会の開催	17.3	17.8	16.1	18.0	16.4	22.0	14.4	21.5	15.6	17.2	18.2	14.8	24.0	14.4
キャリアセンター・就職部による企業の求人情報の紹介	7.4	6.6	2.9	7.0	9.2	9.9	9.0	9.5	7.6	9.4	4.5	6.2	9.7	3.1
インターンシップに関するガイダンス	7.3	6.1	2.9	6.6	9.6	8.6	9.9	9.9	5.3	11.3	4.9	7.8	14.5	1.9
インターンシップ先の紹介・斡旋	5.4	5.5	2.9	5.8	5.1	3.1	5.9	5.5	4.8	7.6	2.9	7.8	9.7	2.5
正課内で行われるインターンシップ(単位取得あり)	3.0	2.6	2.4	2.6	3.8	5.4	3.3	1.4	1.8	5.1	2.3	8.0	5.5	3.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】(大学低学年のキャリア教育受講経験別)

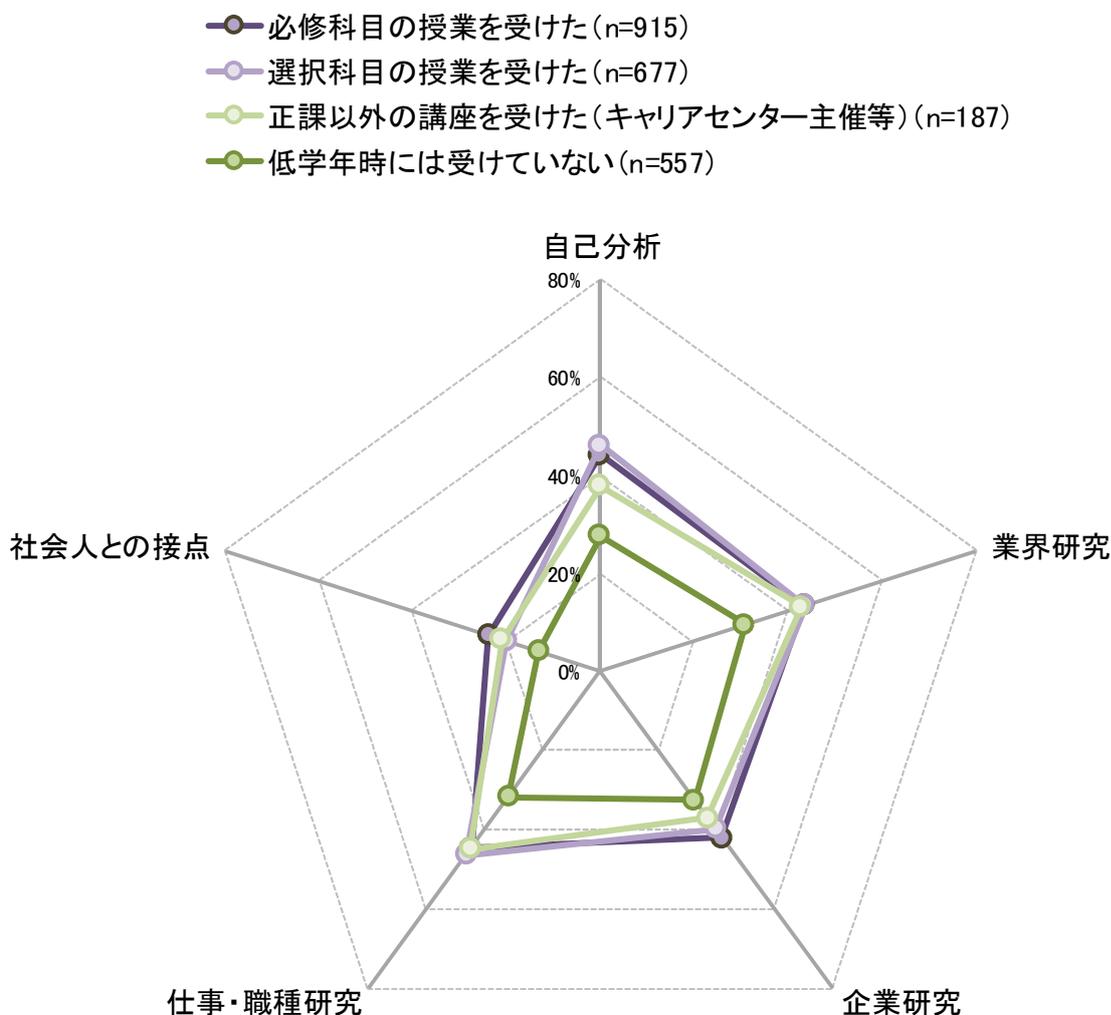
必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職活動開始当初の自己分析や企業研究等への自己評価が高い。

大学低学年(1～2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分(*)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にキャリア教育を受けていない学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について十分だと思っている割合が低い。(図表25-1)

*「十分」「どちらかというと十分」の回答者を合計

図表25-1 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】(単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかというと十分」)



⑩自己分析・企業分析等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(大学低学年のキャリア教育受講経験別)

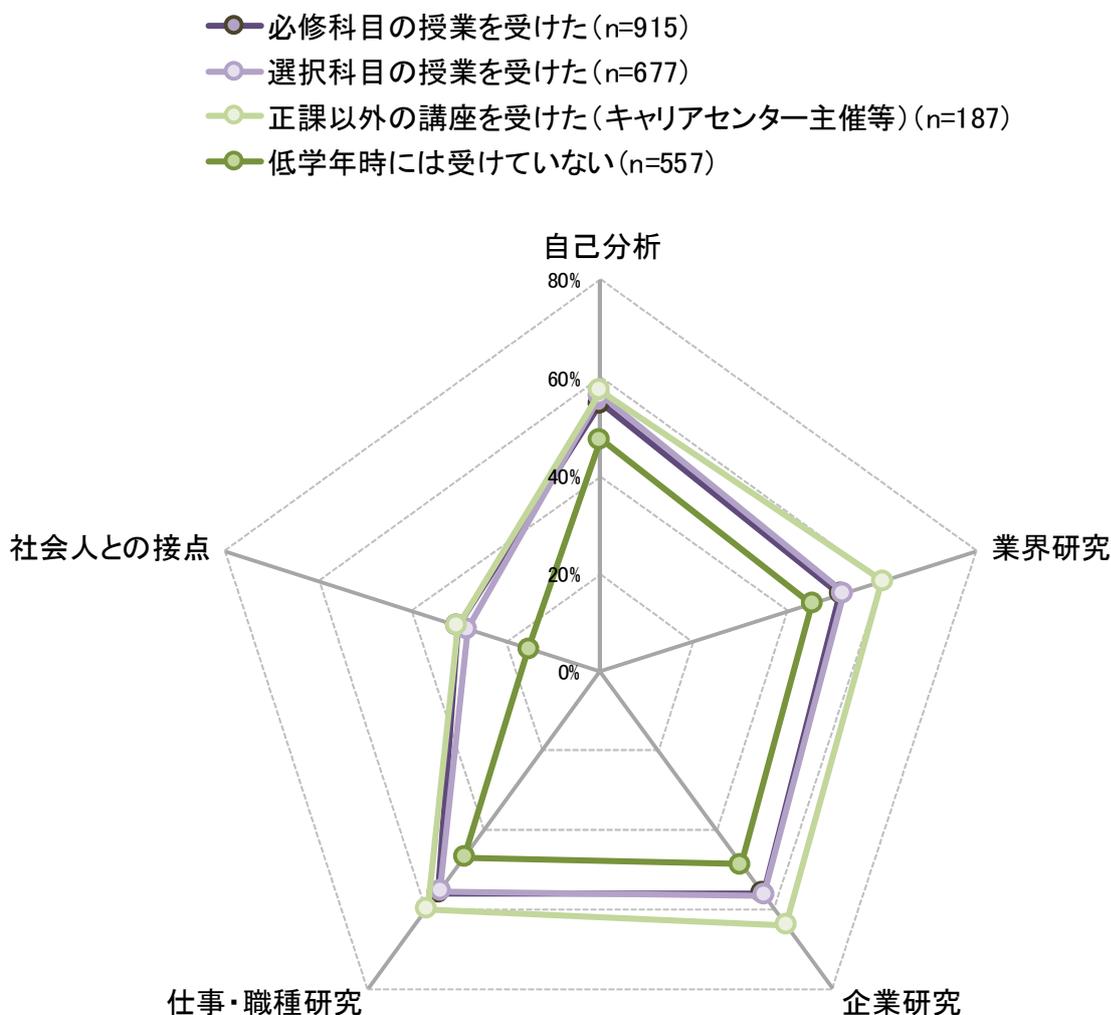
必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職予定先を選んだ時点の自己分析や企業研究等への自己評価が高い。

大学低学年(1～2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生は、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業分析等について十分(*)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にはキャリア教育を受けていない学生は、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について十分だと思っている割合が低い。(図表25-2)

*「十分」「どちらかというと十分」の回答者を合計

図表25-2 自己分析・企業分析等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかというと十分」)



①従業員規模の志向

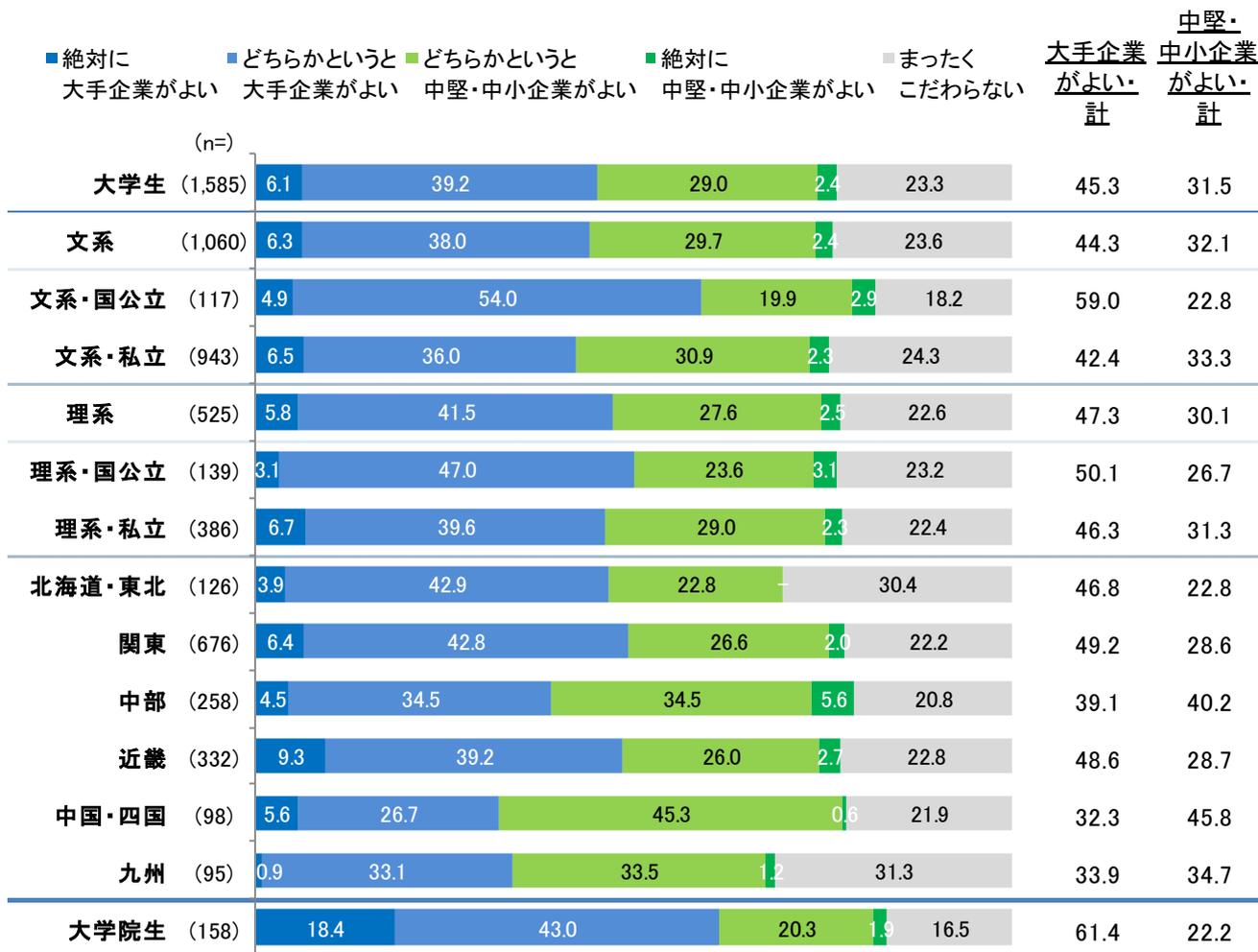
大学生の志望従業員規模は、「大手派」が4割半ば、「中堅・中小企業派」が3割強、「こだわらない派」が2割半ば。大学院生や国公立大学の大学生で、大手志向が強い。

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の4割半ば、大学院生の6割強が大手企業がよい・計(*)と回答している。大学生の2割半ば、大学院生の1割半ばが「まったくこだわらない」と回答している。

属性別にみると、大学院生や、文系・理系ともに国公立大学の大学生では大手企業がよい・計の割合が高い。(図表26)

*「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」の回答者を合計

図表26 就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)
※企業就職志望者ベース



※大手企業がよい・計:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかという大手企業がよい」
※中堅・中小企業がよい・計:「どちらかという中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」

① 従業員規模の志向

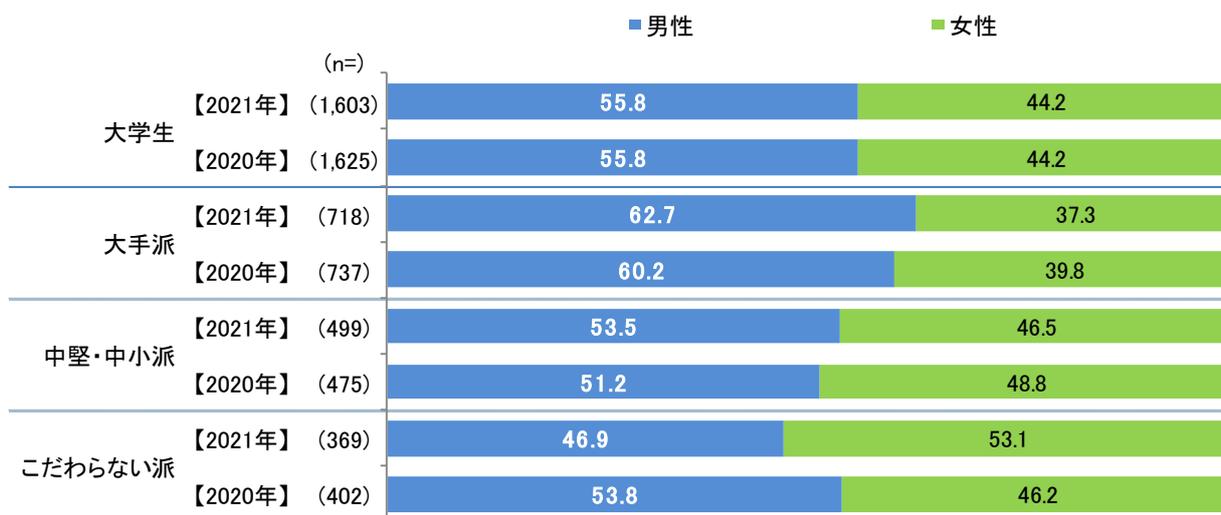
志望従業員規模別の属性は、「大手派」(「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」)で性別では「男性」、居住地では「関東」居住者の割合が高い。(図表27、28)

志望従業員規模別の就職予定先の納得度は、すべての属性で約9割が納得している・計(*)と回答しているが、「こだわらない派」は「納得している」の割合が大学生全体に比べて低い。(図表29)

*「納得している」「まあ納得している」の回答者を合計

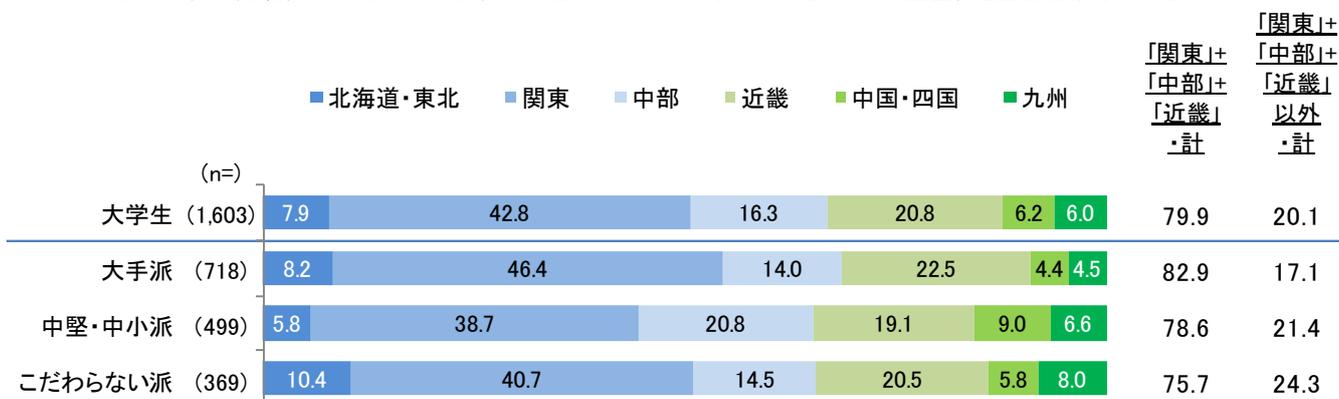
図表27 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表28 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

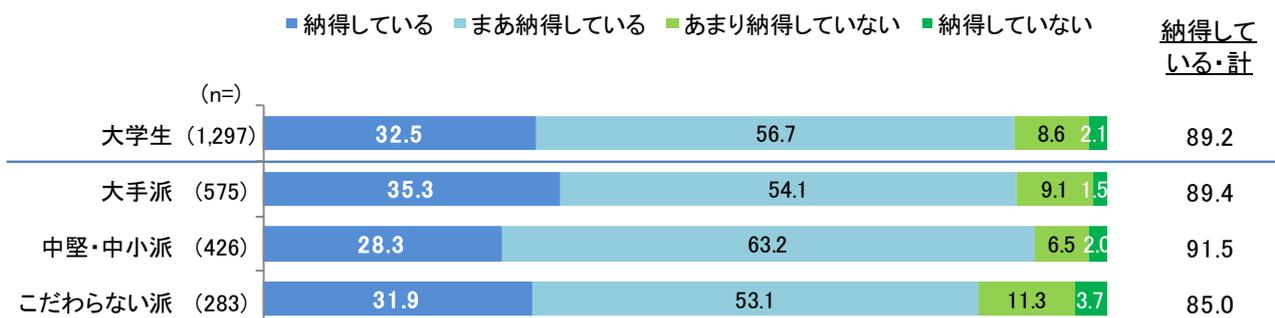
※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表29 志望従業員規模別の就職予定先の納得度状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※納得している+計:「納得している」+「まあ納得している」

⑩ 従業員規模の志向

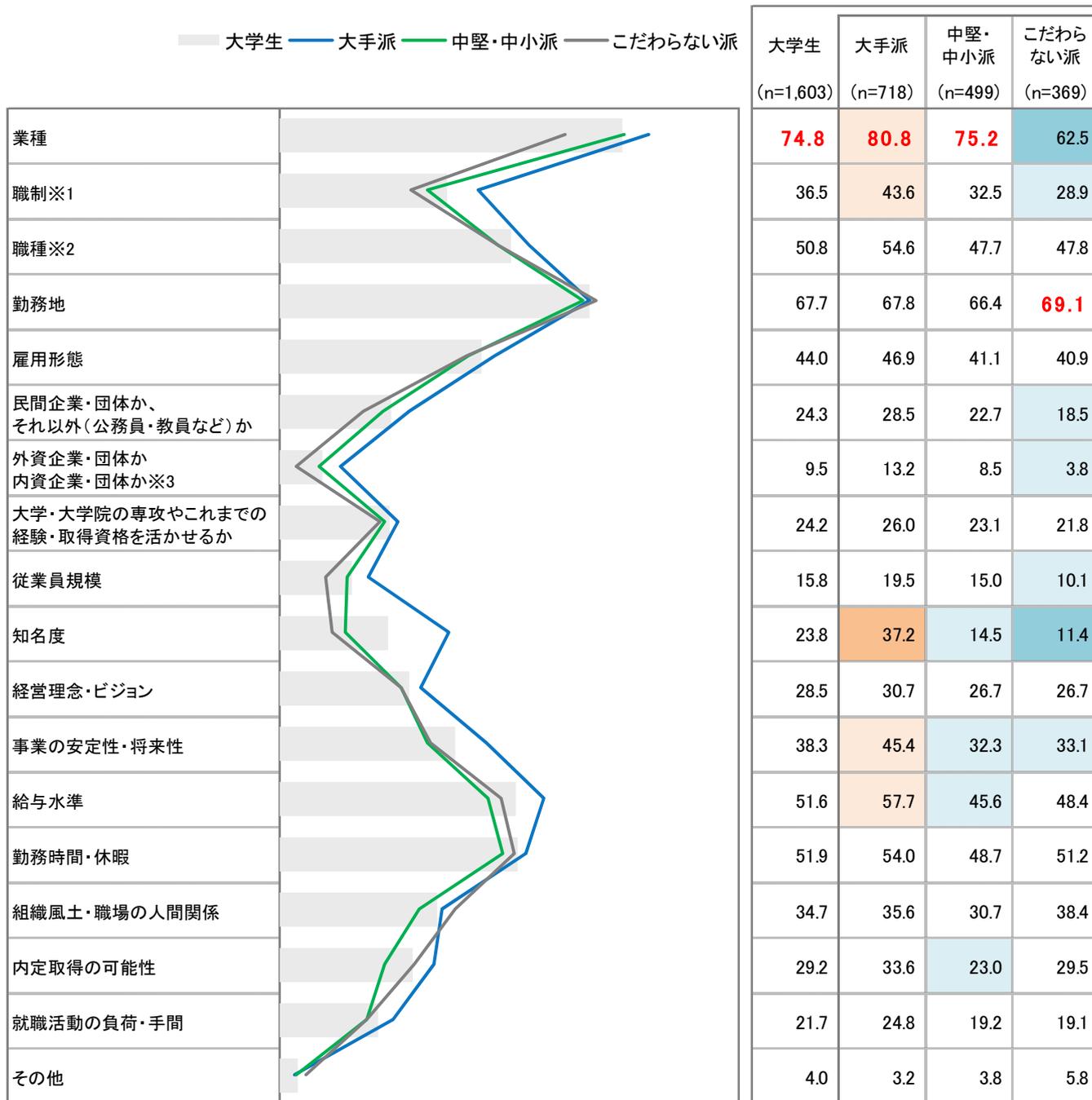
志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点は、「大手派」（「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」）、中堅・中小派（「絶対に中堅・中小企業がよい」「どちらかという中堅・中小企業がよい」）で「業種」、「こだわらない派」（「全くこだわらない」）で「勤務地」の割合が最も高い。

「大手派」では「職制」「知名度」「事業の安定性・将来性」「給与水準」の重視度が高い。（図表30-1）

図表30-1 志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点（複数回答、単位=%）

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1：例）総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2：例）営業職、企画職、事務職、技術職など

※3：外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

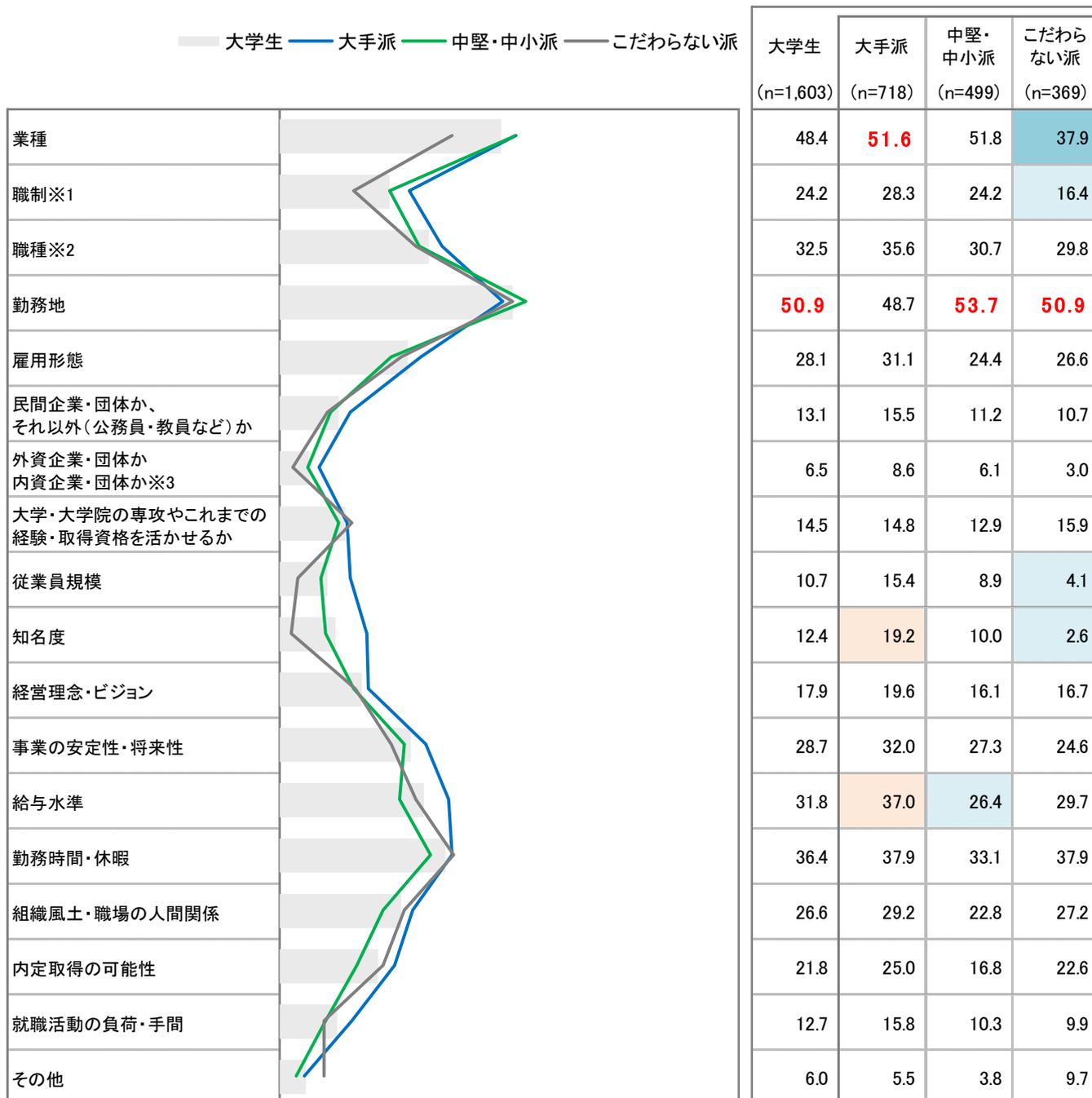
①従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの重視点は、「大手派」で「業種」の割合が最も高い一方で、「中堅・中小派」、「こだわらない派」は「勤務地」の割合が最も高い。(図表30-2)

図表30-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑩インターンシップの参加状況

**インターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。
初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月」の割合が最も高い。**

インターンシップ参加者におけるインターンシップ参加時期は、大学生で「大学3年生8月」、大学院生で「大学4年生3月以降」の割合が最も高い。属性別にみると、中国・四国のみ「大学3年生2月」の割合が最も高いが、それ以外は「大学3年生8月」の割合が最も高い。(図表31-1)

インターンシップに初めて参加した時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月」の割合が最も高い。(図表31-2)

図表31-1 インターンシップに参加した時期(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (905)	国公立 (96)	私立 (808)	理系 (427)	国公立 (102)	私立 (324)	東北 北海道 (99)	関東 (585)	中部 (206)	近畿 (283)	中国 ・ (78)	九州 (80)	大学院生 (138)
大学入学前	1.3	1.4	0.3	1.6	1.1	0.5	1.3	-	0.2	0.3	5.3	-	1.4	2.2
大学1年生	1.7	2.2	1.2	2.3	0.5	0.5	0.5	2.0	1.1	2.3	2.7	-	1.8	2.2
大学2年生	6.6	8.0	6.9	8.1	3.8	3.8	3.9	8.8	7.6	8.2	4.9	2.6	3.6	3.6
大学3年生4月	3.9	4.4	6.0	4.2	3.0	4.3	2.6	4.5	2.8	3.9	5.2	1.9	9.4	2.9
大学3年生5月	5.0	4.1	5.1	4.0	6.8	7.5	6.5	2.0	5.3	5.0	7.8	0.4	1.1	1.4
大学3年生6月	12.1	12.7	13.6	12.6	10.7	9.1	11.3	8.2	14.7	9.9	10.8	16.2	3.9	5.1
大学3年生7月	20.5	22.0	27.4	21.4	17.3	12.3	18.8	16.3	24.1	16.7	21.8	15.6	9.2	5.1
大学3年生8月	44.3	43.2	44.7	43.0	46.7	43.2	47.8	50.9	46.8	50.1	36.5	29.7	45.6	21.0
大学3年生9月	28.4	29.5	32.4	29.1	26.1	26.6	25.9	25.9	30.2	24.3	30.3	28.5	21.7	14.5
大学3年生10月	20.8	25.0	26.1	24.8	12.1	4.8	14.3	17.1	25.2	17.7	19.5	17.6	9.7	10.9
大学3年生11月	19.4	21.7	24.0	21.4	14.6	12.9	15.2	25.7	23.3	14.8	19.7	6.9	6.4	8.7
大学3年生12月	23.0	24.5	26.7	24.3	19.8	12.3	22.1	20.0	28.2	18.3	21.9	22.3	5.7	10.1
大学3年生1月	21.7	22.8	18.3	23.3	19.5	17.1	20.3	17.3	24.7	22.0	20.4	23.6	7.8	11.6
大学3年生2月	26.4	28.0	33.4	27.4	23.0	29.3	21.1	37.1	27.8	26.2	20.6	41.3	9.2	9.4
大学3年生3月	11.2	10.3	5.4	10.9	13.0	10.7	13.7	7.1	13.3	10.2	9.5	13.5	7.0	4.3
大学4年生4月	6.2	6.0	6.3	5.9	6.7	6.4	6.8	5.6	6.5	4.5	8.4	1.1	7.0	2.2
大学4年生5月	2.6	2.2	5.4	1.8	3.5	1.1	4.2	1.7	4.0	1.5	1.8	-	1.4	2.2
大学4年生6月	3.5	3.7	2.4	3.8	3.0	1.6	3.5	0.9	3.8	5.4	3.0	0.7	3.6	1.4
大学4年生7月	2.7	2.8	2.4	2.8	2.4	3.8	2.0	0.6	2.8	3.3	2.9	4.3	0.7	2.9
大学4年生8月	2.0	2.1	2.1	2.1	1.8	2.1	1.7	3.2	1.5	3.7	1.9	1.8	0.4	3.6
大学4年生9月	1.4	1.4	0.9	1.5	1.2	0.5	1.4	1.7	1.9	2.3	0.3	-	-	2.9
大学4年生10月	1.1	1.6	0.3	1.8	0.1	0.5	-	1.7	1.3	1.9	0.7	-	-	2.9
大学4年生11月	1.9	2.5	0.6	2.7	0.5	0.5	0.5	1.7	2.1	4.2	0.4	-	1.1	0.7
大学4年生12月	1.2	1.5	0.3	1.7	0.6	1.6	0.3	1.4	2.3	-	0.4	-	-	0.7
大学4年生1月	1.0	1.2	0.9	1.2	0.7	1.1	0.5	-	1.2	2.1	0.7	-	-	2.2
大学4年生2月	0.8	0.9	0.9	0.9	0.5	1.6	0.2	-	1.0	1.0	0.4	1.1	0.4	2.9
大学4年生3月以降	1.6	1.6	-	1.8	1.5	1.6	1.4	1.7	1.3	2.4	2.4	-	0.4	55.8

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑩ インターンシップの参加状況

図表31-2 インターンシップに初めて参加した時期(単一回答、単位=%)
※インターンシップ実施者ベースで作成。

	大学生	文系			理系			東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生	
	(n=)	(898)	国公立 (95)	私立 (803)	(419)	国公立 (99)	私立 (320)								
大学3年/大学院1年の5月以前	(1,317)	6.9	7.7	7.9	7.6	5.2	4.4	5.4	9.7	7.8	5.7	4.8	12.2	1.8	8.1
大学3年/大学院1年の6月頃		7.4	7.0	5.2	7.2	8.4	6.6	9.0	2.3	9.0	6.3	8.9	5.5	2.1	5.9
大学3年/大学院1年の7月頃		8.9	9.5	13.7	9.0	7.7	8.9	7.4	13.8	9.6	7.5	8.8	1.8	9.1	12.5
大学3年/大学院1年の8月頃		19.3	19.3	23.2	18.9	19.2	22.5	18.2	30.8	17.5	27.9	13.8	18.5	15.8	19.9
大学3年/大学院1年の9月頃		9.1	11.3	11.3	11.3	4.2	6.1	3.6	9.2	7.3	10.7	8.2	11.1	19.0	8.8
大学3年/大学院1年の10月頃		5.5	4.6	4.6	4.6	7.4	4.4	8.3	2.3	7.4	3.9	4.0	4.6	5.5	5.9
大学3年/大学院1年の11月頃		6.4	6.6	8.9	6.3	6.0	4.4	6.5	10.0	4.5	5.3	10.3	8.3	2.8	2.2
大学3年/大学院1年の12月頃		5.9	5.2	6.1	5.1	7.4	2.2	9.0	3.8	6.9	2.4	8.3	0.4	7.7	8.1
大学3年/大学院1年の1月頃		5.7	5.9	4.9	6.0	5.4	4.4	5.7	2.9	5.9	6.1	6.9	6.7	2.2	5.1
大学3年/大学院1年の2月頃		7.4	6.1	4.6	6.3	10.0	13.8	8.8	3.2	5.4	10.4	9.4	17.1	2.1	5.9
大学3年/大学院1年の3月頃		7.4	6.9	4.3	7.2	8.5	8.9	8.4	5.0	6.8	8.4	5.4	4.8	21.3	5.1
大学4年/大学院2年の4月頃		4.6	5.0	2.1	5.3	3.7	3.3	3.8	4.5	4.9	1.7	4.9	6.7	7.0	2.9
大学4年/大学院2年の5月頃		1.3	0.9	0.3	1.0	2.0	5.0	1.1	0.9	2.1	1.1	0.4	0.7	-	2.9
大学4年/大学院2年の6月頃		1.0	0.7	1.2	0.7	1.5	0.6	1.8	0.9	1.3	0.7	0.3	1.1	2.2	-
大学4年/大学院2年の7月頃		0.7	0.6	1.2	0.5	0.9	-	1.2	-	0.3	0.7	1.8	0.4	0.4	1.5
大学4年/大学院2年の8月頃		0.3	0.4	-	0.4	0.1	0.6	-	-	0.5	0.4	-	-	-	1.5
大学4年/大学院2年の9月頃		1.1	1.2	0.6	1.3	0.8	3.3	-	0.9	0.9	0.1	2.8	-	-	0.7
大学4年/大学院2年の10月頃		0.5	0.3	-	0.3	0.9	-	1.2	-	0.9	-	0.4	-	-	0.7
大学4年/大学院2年の11月以降		0.8	0.9	-	1.0	0.5	0.6	0.5	-	1.1	0.8	0.5	-	1.1	2.2

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩ インターンシップの参加状況

インターンシップの認知きっかけは「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」が最も高い。参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」が中心も、大学院生では長期参加者の割合も高い。

インターンシップを認知したきっかけは、大学生・大学院生ともに「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」の割合が最も高い。属性別にみると、理系大学生では「大学」の割合が高い。(図表32)

インターンシップの参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」の割合が最も高いが、大学院生では大学生に比べて「3日以上1週間未満」「1週間以上2週間未満」といった比較的長期の参加期間の割合も高い。(図表33)

図表32 インターンシップの認知きっかけ(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生			
	(n=)	(905)	国立	私立	(427)								国立	私立	
企業／官公庁／組織・団体等のサイト	(1,331)	30.3	31.7	40.6	30.6	27.2	30.5	26.2	28.7	32.1	30.9	26.6	31.6	28.5	33.3
大学		40.6	38.3	27.3	39.6	45.6	36.2	48.5	43.9	42.6	38.3	35.1	36.4	51.6	29.0
就職情報サイト／ 就職情報アプリ／就職情報誌		65.8	65.2	73.6	64.2	67.0	82.3	62.1	73.7	68.7	61.6	65.2	55.0	57.5	66.7
インターンシップ斡旋団体 (NPO含む)のサイト等		6.9	8.7	11.2	8.4	3.3	2.7	3.5	7.4	5.1	10.6	8.7	4.9	6.2	4.3
ソーシャルメディア(Facebook、 Twitter、LINE、Instagram等)		3.8	4.2	8.8	3.7	2.9	3.2	2.8	2.0	4.2	3.1	4.1	-	7.4	2.2
その他		2.1	2.1	2.4	2.0	2.1	1.1	2.5	5.3	1.7	3.6	2.0	-	-	4.3

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

図表33 インターンシップの参加期間(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生			
	(n=)	(905)	国立	私立	(427)								国立	私立	
1日	(1,331)	68.8	68.4	69.9	68.3	69.7	65.7	71.0	70.1	70.8	66.9	69.9	64.6	58.5	63.8
2日		21.5	23.5	27.0	23.1	17.2	21.2	16.0	22.8	21.0	24.6	20.0	19.2	23.3	25.4
3日以上1週間未満		24.5	25.0	31.8	24.2	23.3	32.5	20.5	17.1	24.8	27.0	24.8	33.2	15.5	34.8
1週間以上2週間未満		11.9	12.4	11.8	12.5	10.8	19.8	8.0	12.5	9.1	18.7	11.5	12.3	15.3	18.8
2週間以上1ヶ月未満		5.1	5.7	8.1	5.4	3.9	4.3	3.8	8.0	3.5	7.3	6.9	1.1	5.0	8.7
1ヶ月以上3ヶ月未満		2.4	2.0	3.9	1.8	3.1	-	4.1	-	3.4	3.3	1.1	-	1.8	2.2
3ヶ月以上		2.4	2.2	4.5	2.0	2.6	0.5	3.3	0.3	4.2	0.1	1.7	0.4	1.4	6.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃いオレンジ色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄いオレンジ色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩ インターンシップの参加状況

**インターンシップ先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。
北海道・東北では「インターン内容」の重視度が最も高い。**

インターンシップ先を選ぶ際に重視した点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。

属性別にみると、北海道・東北では「インターン内容」の割合が最も高く、「業種」よりも高い。(図表34)

図表34 インターンシップ先を選ぶ際に重視した点(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (905)	国公立 (96)	私立 (808)	理系 (427)	国公立 (102)	私立 (324)	北海道・ 東北 (99)	関東 (585)	中部 (206)	近畿 (283)	四国・ 中国 (78)	九州 (80)	大学院生 (138)
業種	61.8	61.6	64.0	61.3	62.1	63.0	61.9	51.0	68.0	63.7	52.5	64.5	54.9	71.7
職種	41.9	39.7	41.8	39.4	46.6	51.8	45.0	32.2	42.5	47.3	39.6	44.4	41.4	51.4
会場(地域・場所)	32.3	30.8	37.5	30.0	35.4	41.6	33.5	48.6	28.9	38.9	29.6	33.1	28.7	39.9
インターン内容	45.3	43.9	49.2	43.3	48.4	42.3	50.3	55.8	47.8	41.8	49.4	20.0	33.9	51.4
企業・各種団体等の規模	14.6	15.7	22.0	15.0	12.1	8.6	13.3	11.8	13.4	17.8	19.2	8.1	8.0	18.1
企業名	22.4	26.5	37.9	25.1	13.8	11.6	14.5	20.5	19.7	24.6	28.6	13.7	26.1	31.9
日程・期間	36.5	39.0	46.5	38.1	31.0	29.3	31.6	46.6	36.9	43.8	31.1	22.8	34.1	39.9
報酬	4.9	5.2	6.0	5.1	4.2	4.8	4.0	2.6	3.8	5.0	6.2	1.8	13.9	9.4
採用選考に直結するかどうか	11.7	13.4	12.9	13.5	8.2	8.9	7.9	9.6	12.1	8.7	14.4	9.0	12.7	19.6
その他	0.8	1.1	0.3	1.2	0.3	-	0.4	0.9	1.0	2.0	-	-	-	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩ インターンシップの参加状況

**インターンシップの参加目的は、大学生で「業種理解」の割合が最も高い。
国公立大学生と大学院生において「仕事理解」の割合が高い。**

インターンシップの参加目的は、大学生で「業種理解」が最も高い。

属性別にみると、国公立大学生および大学院生は、「仕事理解」の割合が高い。(図表35)

図表35 インターンシップの参加目的(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		東北		関東	中部	近畿	四国	中国	九州	大学院生
	(n=)	(905)	国公立	私立	(427)	国公立	私立	(99)	(585)	(206)	(283)	(78)	(80)	(138)
業種理解	56.7	56.9	68.7	55.4	56.4	60.6	55.1	57.6	58.6	53.6	55.0	53.0	59.8	62.3
仕事理解	55.5	56.0	70.9	54.2	54.6	59.3	53.1	57.1	56.7	56.7	51.9	48.1	61.9	63.0
企業・各種団体等の事業内容理解	34.1	33.8	43.8	32.6	34.7	38.9	33.4	43.3	35.9	42.7	26.2	23.1	26.2	39.9
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る	35.2	34.4	43.5	33.3	37.1	36.4	37.2	38.8	38.3	41.5	27.8	29.3	24.7	42.8
自分のスキルの見極め	19.4	20.3	24.1	19.8	17.5	14.5	18.5	23.7	19.5	22.5	18.5	13.0	14.8	17.4
自分自身のキャリア観を明確にする	18.5	17.2	21.0	16.7	21.2	17.7	22.3	25.2	19.2	17.7	16.9	15.3	15.1	23.2
大学カリキュラムの単位取得	8.0	8.4	13.9	7.7	7.3	9.6	6.6	5.9	9.0	5.9	6.8	14.7	7.3	6.5
内定獲得(採用直結)	18.7	20.1	16.8	20.5	15.7	17.7	15.1	16.7	18.9	22.2	20.0	11.5	12.9	21.7
社会人との人脈構築	8.5	9.9	9.6	9.9	5.6	6.4	5.3	12.4	8.1	10.9	9.4	1.4	3.9	11.6
他の就職活動生との人脈構築	6.7	7.4	6.0	7.5	5.3	4.3	5.7	8.9	6.4	12.4	4.6	4.4	1.8	10.1
報酬	2.8	2.7	4.8	2.4	2.9	3.2	2.8	2.0	2.7	2.4	2.9	-	6.6	5.1
その他	0.9	1.3	-	1.5	-	-	-	3.9	0.4	2.7	-	-	-	-
特に意識していた目的はなかった	8.0	7.2	6.0	7.3	9.8	7.5	10.5	7.6	7.9	10.7	9.1	1.8	4.7	5.8

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩インターンシップの参加状況

インターンシップに参加してよかった点は、大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

インターンシップに参加してよかった点は、大学生・大学院生ともに「業種について具体的に知ることができた」の割合が最も高い。また、国公立大学の大学生や大学院生では「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が高い。

地域別にみると、北海道・東北の大学生は、他の地域と違い「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が最も高い。(図表36)

図表36 インターンシップに参加してよかった点(複数回答、単位=%)

	大学生	文系		理系		北海道・東北		中部	近畿	四国・中国	九州	大学院生			
	(n=)	(905)	国公立	私立	(427)	国公立	私立								
業種について具体的に知ることができた	(1,331)	54.1	55.1	59.7	54.6	52.0	43.9	54.5	44.6	56.9	54.0	50.2	56.9	56.5	60.9
仕事内容を具体的に知ることができた		49.1	49.9	61.8	48.4	47.5	59.8	43.6	50.4	51.2	53.6	44.7	37.2	47.2	55.8
企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた		33.5	34.2	41.5	33.3	32.0	30.9	32.4	30.3	33.1	40.7	33.0	21.6	35.5	35.5
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた		33.7	32.4	35.7	32.0	36.3	39.7	35.2	36.9	32.7	39.2	31.9	31.6	30.7	36.2
自分のスキルを見極めることができた		17.3	17.4	22.9	16.7	17.1	11.8	18.7	19.5	18.4	18.9	17.3	8.5	10.7	20.3
自分自身のキャリア観を明らかにすることができた		15.9	17.5	21.6	17.0	12.6	12.9	12.6	13.2	15.3	18.3	19.4	8.3	12.7	20.3
インターンシップに参加した企業・各種団体等から内定取得できた		12.3	12.6	16.8	12.1	11.6	4.3	13.9	17.3	12.2	17.3	9.4	11.2	5.0	19.6
社会人との人脈を作れた		7.1	7.1	5.7	7.2	7.3	2.7	8.7	5.9	9.3	8.5	3.7	1.4	7.1	10.1
他の就職活動中の学生との人脈を作れた		6.1	6.6	6.0	6.7	5.0	3.2	5.5	8.2	6.3	6.5	4.1	6.7	7.3	11.6
その他		1.0	0.6	1.2	0.5	1.8	-	2.3	-	1.4	1.9	0.4	-	-	-
特になし		13.1	13.1	7.5	13.7	13.3	13.4	13.3	19.2	12.3	10.5	16.8	9.6	8.9	8.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑩ インターンシップの参加状況

**インターンシップ参加企業への入社予定は、大学生は3割半ば。
理系大学生では、約8割がインターンシップ参加企業または同業種の企業に入社予定。**

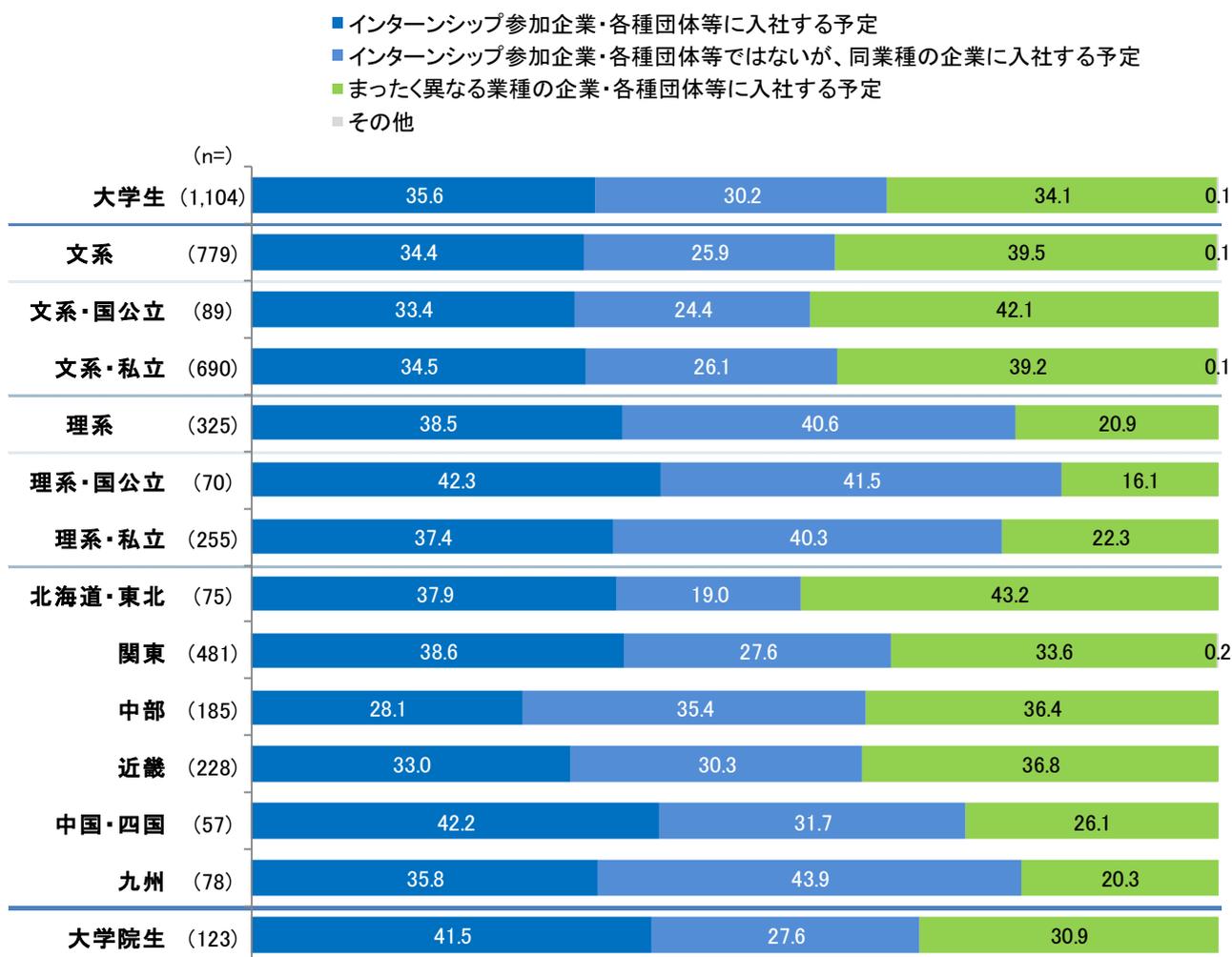
インターンシップに参加した企業／同業種への入社予定は、大学生は「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」「インターンシップ参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」「まったく異なる業種の企業・各種団体等に入社する予定」それぞれ約3割で拮抗している。

属性別にみると、文系大学生では「まったく異なる業種の企業・各種団体等に入社する予定」の割合がやや高い。理系大学生では「インターンシップ参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」の割合が高く、「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」と合わせると約8割。

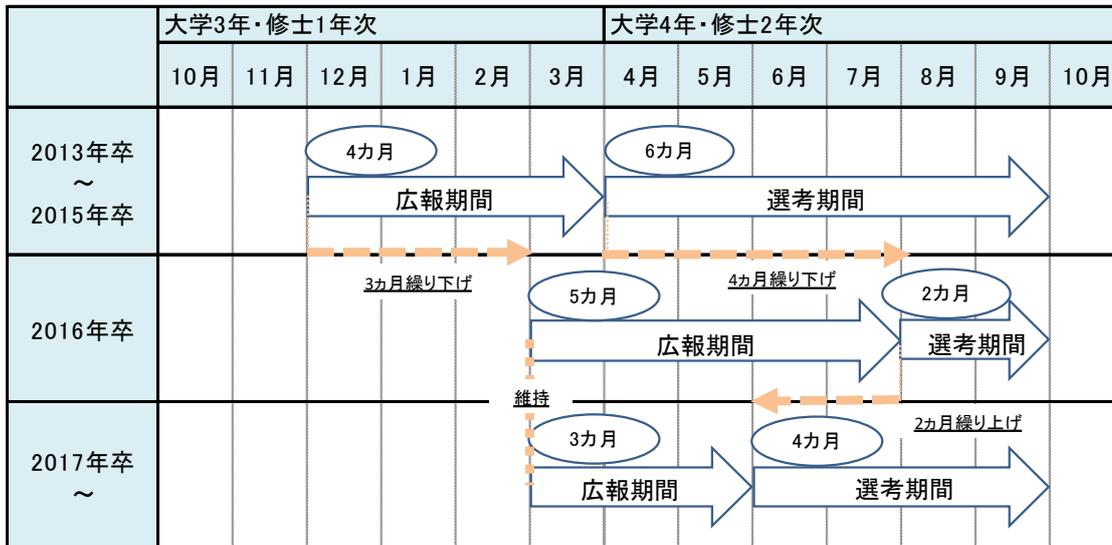
大学院生は「インターンシップ参加企業・各種団体等に入社する予定」が約4割であり、大学生よりも割合が高い。(図表37)

図表37 インターンシップに参加した企業／同業種への入社予定(単一回答、単位=%)

※就職確定者で、インターンシップ参加者ベース



●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細



●調査備考

《地域区分の内訳》

- 北海道・東北＝ 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東＝ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部＝ 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿＝ 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国・四国＝ 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州＝ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

《調査集計の留意点》

%を表示するために小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の求人サイト・求人情報誌・折込求人紙を運営・発行する61社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。年間求人広告件数は1143万1302件(2020年)にのぼる。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズ行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスネクステージ、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣濟堂、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルート